

---

# スマッシュブラザーズで逃走中

スマッシュ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

スマッシュブラザーズで逃走中

### 【Nコード】

N7875Y

### 【作者名】

スマッシュ

### 【あらすじ】

今思えばPV4000！案外すごいことになっていました！この調子で書いていこう！逃走者は相変わらずすごい逃げ足だ！

## スマブラ(前書き)

さぼらないぞ〜

## スマブラ

はい、こんにちは

作者です。

マリオ「こらっ勝手に出てくるな〜。」  
いいじゃないか出てきても

ルイーダ「まあいいじゃないの兄さん」

リンク「そうですよマリオさん」

マリオ「そうか？」

では、今から逃走中を始める

マリオ「いきなりだな」

ではやっていくぞ！

ルイーダ「早くやろ〜よ〜」

だったら早くスマブラメンバーを集めてこいよ

マリオ・ルイーダ・リンク「はい」

お前らは子供か！

リ・マ・ル「はははは」

次、スマブラメンバーの話になるよ

さあ、ルールを説明するぜ！（前書き）

前回失敗してサブタイトルがスマブラになってしまいました。  
すみません。

さあ、ルールを説明するぜ！

さて、今から説明するぞ！

マリオ「はやくしろよ」

わかったわかった。

ルール

今回、逃走する場所はこのスマッシュパークいはゆるスマブラ遊園地だ。

ここで、120分間逃げてもらおう逃げ切れれば144万円だ。

しかしハンターにつかまると賞金は0だ。

とあるところに電話ボックスがあるその中の電話で自首ができる。

自首が成立するとそのときの賞金が得られる。

健闘をいのる。

マリオ「さてがんばるか！」

ルイーダ「ぼくも！」

リンク「私も逃げ切りたいですね」

話が長いのでパス、

パスされた全員「おい」

マスター「今からゲーム始めるから入口に集まれ！」

作者「あつ、マスター。どこに行つてたのさ？」

マスター「この遊園地を探索してた。」

作者「(のんきなやつ)まあ、いいや。さっき言われたように集まれ」

全員「わ~~~~~」

次、スマブラメンバー

さあ、ルールを説明するぜ！（後書き）

つづけられるかな？

さあ、始めるよ(前書き)

マリオ「ちゃんとできるのかよ」

作者「なにか?」

マリオ「いえなにも・・・」(「わっ!」)



## さあ、始めるよ

マリオ「着いた。」

リンク「疲れた〜。」

カービー「ここまでくるのたいへんだよ〜」

じゃあみんな来たな。

では、これよりゲームを始める。

ファルコ「本格的だな」

君たちの目の前にハンターが3体と鎖が39本ある

君たちはそれを引いていく

たまにいいアイテムをもらえることがある

しかし、はずれを引くとその場でハンター放出だ・・・

健闘を祈る・・・

作者「さあくじを引いて順番を決めよう」

スポ!

マリオ「わあ、1番だ。でも当たりにくいかな？」

ピカチュウ「おお39番だ。絶対に回らない!」

そして、1番はマリオだ・・・

ドンキー「マリオ!いきなりハンター引くなよ!」

マリオ「わかってるよ!よしカラーはマイカラーの赤だ!いくぞ!

それ!」

ジャララララ・・・

セーフだ・・・

マリオ「やったーじゃお先」

次はルイーダ。

ワリオ「よし、逃げる準備だ!」

ルイーダ「こらー、そんなこと言うな〜」

フォックス「で、何色なんだ。まさか、コケ色じゃないよな?」

ルイーダ「いや違うよここは黒色で」

クツパ「なぜなのだ？」

ルイージ「ハンターの色だから、それ！」

マリオとルイージ以外「勝手に引くな」

セーフだ

ルイージ「やったーあれ、なんだろうこれ？」

冷凍銃2つミニ

これはハンターを30分間止めていられる。

ルイージ「じゃあね」

次は・・・

デデデ「今度はわしゾイ！」

デカイ腹のデデデだ。

デデデ「でかい腹は余計ゾイ！」

全員「さあどれを引くの？」

デデデ「金だゾイ！」

ワリオ「あー、それ俺様が引こうとしたのに！」

デデデ「そんなの速いもん勝ちゾイ！いくぞ、それ！」

ジャララララ

ガシャン

全員「わーーーーー」

デデデ「ぎゃ~~~~」

ポン

デデデ確保

あと38人

時間あと119分40秒

ネス「あつデデデつかまつちゃた。」

ハンターは神出鬼没それが

逃走中

次回、みんな逃げまくろうぜ！

さあ、始めるよ（後書き）

今回、かなり長かったな。

さあ、みんな逃げようぜ！（前書き）

この日に4話も作れるなんてテスト週間なのに・・・orz

さあ、みんな逃げようぜ！

ルイージ「冷凍中ミニ2つ持ってるから案外大丈夫かも」

ところで賞金の使い道は？

ルイージ「僕は144万円とも全て被災地の人々へ渡してあげたいです」

われながらすごい回答だ。

ところでワリオ

ワリオ「金金」

賞金に目がくらんでいるようだ・・・

その近くにハンター・・・

ワリオ「金が増えるぜ」

ハンター「！！」

ワリオ「げっ！」

ポン

ワリオ確保

残り37人

残り時間118分

ワリオ「なんでハンターが出るんだ、それと金~~~~~」  
調子のとてるからだ

残り110分

プルルルル

マリオ「メールだ！しかもミッション！」

リンク「えーと何々？」

ゼルダ「今からハンターボックスを10個置いた」

デイディー「阻止するにはハンターボックスのレバーを二人でおろさなければいけない」

ミッション

ハンター放出を阻止しろ！

エリアにハンターボックスが10個設置され95分になるとハンターが放出される。

阻止するにはレバーを二人でおろさなければいけない。

ピーチ「あれ？下にまだ続きがある」

ピット「通達これから裏切り者を受付する」

トウーン「裏切り者は1人ハンターに捕獲させると+10万もらえる」

クツパ「裏切り者は1人だ」

ドンキー「受付終了は1分後だ」

???「裏切ります・・・」

スタッフ「はい、わかりました」

その後、

ガノンドロフ「裏切るぞ！」

スタッフ「すみません裏切り者ができましたのでもう受付終了です」

ガノンドロフ「何！？」

プルルルル

メールだ・・・

マリオ「裏切り者が現れたうそ~~~~~」

マリオ声が大きいぞ・・・

ハンター「!!!」

マリオ「あっハンターだ！」

マリオは逃げた

マリオ「角を使おう！」

ハンター「??」

うまく巻いたようだ

マリオ「ほんと危なかった」

その頃

???「クツパ、スマツシユ観覧車の前にいます・・・」

クツパ「暇なのだ」

たたたたっ

クツパ「あっハンターだ！」

どしどし

クツパは走るのが遅かったので

ポン

クツパ確保

残り36人

残り時間108分30秒

オリマー「あっクツパさん捕まった。それに裏切り者の通報だって

!？」

次回、ミッションへGO!

さあ、みんな逃げようぜ！（後書き）

牢獄でトーク

クツパ「つかまったのだ」

デデデ「わしはスタートの時つかまったゾイ！」

???「おおお前たち！」

ワリオ「誰だ？オメ？」

???「俺か？俺はクレイジーハンドだ。ほとんどマスターの手伝いだ！」

クツパ「手伝いつて何だ？」

クレイジー「もし、お前たちが出てきそうだったら即倒せと言う手伝いだぜ」

デデデ「もう手伝いじゃないゾイ！」

クレイジー「そうか？じゃあマスターにそういつてくる」

また、長く書いてしまった



ミニミュージック（前書き）

今日のつちたに6話作るぞ！

## ミッションへGO

ロボット「デハ、みっしょんへイキマシヨウ」

あいにくカタコトだ。

ロボット「アツ、はんたーぼつくすデス。シバラクカクレテヒトガ  
ギターデマシヨウ」

隠れて待つようだ

1分後違うところで

ルイージ「あつ、兄さん」

マリオ「よっ、ルイージ」

ルイージ「兄さん、ミッションいこうよ!」

マリオ「ああそうだな行こう!」

マリオとルイージは共に行動するようだ。

そして

ルイージ「あつ見つけたよ、しかも、5個も!」

マリオ「すげーなてっ、おい!作者何してるの?」

作者「こんな所に5個置いた奴のせいで働かされているんだよ!まあいいやその箱を全部運んでくれたら僕的能力で1人でもレバーを引けるようにするよ!」

マリオ「そうか手伝う時間はいくらだ?」

作者「5分くらいで終わるよ2人いるからその半分で終わるよ」

ルイージ「そうかじゃ手伝うよ!」

作者「ありがとう」

2分30秒後

ルイージ「終わったー!」

作者「じゃ1人でも引けるようにするよ、それ!」

マリオ「よし、引いてみよう、それ!」

ガチャッ

ブルルルル

マルス「ハンターを5体阻止したあと5体だ！はやつ！」

アイク「？もうひとつメールがある・・・」

ソニック「今からハンターボックスのレバーを1人で引けるようになるよ。byルイージ wowそうかじゃ引くか」

ロボット「ソウデスカ！引イテミマシヨウ」

ガチャッ

2つ阻止成功残り3つ

ファルコン「よし、見つけたしかも2つ！」

ガチャッガチャッ

残り1つだ。

ピット「多分この辺に・・・あつた〜」

ガチャッ

ミッション成功

ブルルルル

ピーチ「ミッション成功マリオ・ルイージ・ソニック・ロボット・

ピットがハンターボックスを阻止した。よかつた〜」

その頃このスマツシユパーク（スマブラ遊園地）の園長のマスターは  
マスター「今日は何の日だ？」

スタッフ1「今日はこの遊園地ができた日です」

スタッフ2「たいへんで〜す」

マスター「なんだ？」

スタッフ2「今日こんな手紙が・・・」

マスター「何！？貸してみる、まっまさか！？」

その手紙には

今日お前の遊園地の観覧車のゴンドラを奪つ。

ブルルルル

リュカ「なっ何？」

メールだ

ゲーム&ウオッチ「エート」

ゼニガメ「ある人物から手紙が園長に届いた」

フシギソウ「内容は「遊園地の観覧車のゴンドラを奪う」どういう意味？」

リザードン「犯人は観覧車を動かして目当てのゴンドラをとるその間のゴンドラにハンターが乗っている

ひえ〜」

ポケモントレーナー「それを阻止することはできない。ええ〜〜」

プリン「逃げ切るにはアイテム屋にいったってバッチを買え」

ミッシヨン

バッチを買って自分たちを守れ！

この遊園地にあるアイテム屋に行きバッチを買う。

それを付けるとゴンドラから降りてきたハンターはその人が見えなくなるしれものだ。

それが売っている時間は残り分80分までその時間が過ぎるとどこにも逃げれなくなる。

現在残り90分

逃走者間に合うのか！？

次回、さあ早くバッチを買いに行こうぜ！

## ミッションへGO（後書き）

マリオ「そういえば裏切り者からなどの確保余りないな」  
作者「ぎくっ」

ルイーダ「しかも90分で残り36人って多くない？」  
作者「ぎくっぎくっ」

ああ忘れてました。

裏切り者が誰か募集します。

それと出たい方も募集します。

1週間以内です。

速くだしてね。

**バッチ買いと案外逃走者減るぜ！（前書き）**

マリオ「今回逃走者かなり減るだつて!？」

スマッシュ「うんそうだよ、何か文句ある？」

ルイーダ「いいえ、なにも・・・」

すみませんネタばれだけど10人減ります！

## バッチ買いと案外逃走者減るぜ！

マリオ「そういやバッチ買わないとな！」

スマブラのキャラクター達にメダルを2つ渡してある、このメダルは自首と買物が出る物だ！

マリオ「まあ、二つあるからいいな！しかし、これを使うとはほかに無料でバッチをもらうことできないかな？」

そのとき！プルルルル・・・

マリオ「メールか！」

ルイーダ「えーと、なにになに？」

ピーチ「この遊園地の管理室の部屋の前で10個のバッチが無料で配られている・・・。へー」

通達

この遊園地を作った園長マスターが管理室でバッチを10個配っている。だからもらえるのは先着10人までだ！

リンク「確かこの辺にありましたよね？」

観覧車から降りてきたハンター「・・・」

リンク「あつ、ハンターだ！こつそりと行こう・・・」

管理室の前

マスター「はやくこないかな？」

????「あつ、マスター！」

マスター「おつ、ルイーダじゃないか！」

ルイーダ「バッチちょうだい！」

マスター「あいよ！」

ルイーダ「ありがとう！」

????「おつ、ルイーダさんとマスターさんじゃないですか！」

ルイーダ「あつ、リンク！」

リンク「マスターバッチください！」

マスター「ほれ！」

リンク「ありがとうございます！」

その頃

???「ゼルダ、ジェットコースター前にいます・・・」  
ハンター2体「!!!!!!」

ゼルダ「えーと、ここはジェットコースター前ね」

たたたたたた

ゼルダ「あつ、ハンター！」

たたたた

ゼルダ「こつちにも！」

ポンッ

ゼルダ確保（裏切り者通報）

残り35人

残り時間87分40秒

リンク「わ~~~~ん、姫~~~~あいつが通報したんだな！」

ブルルルル

ガノンドロフ「なんだ？電話か？」

がちゃ

リンク「おい！ガノン！姫をお前が通報したんだろ！」

ガノンドロフ「なぜ俺が！」

ガノンドロフのほうで

???「ガノンドロフ、メリーゴーランド前にいます・・・」

ハンター「！」

たたたた

ガノンドロフ「ムッ！すまんがリンク・・・いまきるぞ！」「ブチッ！」

リンク「きりやがった・・・」

ガノンドロフ「うお~~~~」「ポンッ」



ガノンドロフ確保（裏切り者通報）

残り34人

残り時間86分30秒

リンク「通報されていたのか・・・」

ピーチ「あれは、ハンター？」

ハンター「！」

たたたたた

ピーチ「キヤーーーーー！」

別のハンター3体「！！！」

ピーチ「ええええええええ！」

ポンツ

ピーチ確保

残り33人

残り時間86分15秒

マリオ「姫が捕まったところで店に来た・・・」

ガラッ！（昔かよ！）

マリオ「バツチください・・・！」

アイク「マリオか・・・」

マリオ「アイクも来ていたのか・・・」

アイク「そらそうだ、そうでなければ強制失格だろ・・・」

マリオ「バツチください」

店員「どうぞ、1枚メダルください」

マリオ「はい」

店員「毎度！」

マリオ「じゃあな、アイク！」

アイク「がんばれよ！」

カービィ「ここ何処？」

迷ってるようだ・・・

カービィ「自首するつもりなのに・・・」

どうやら自首ボックスを探してるようだ

???「カービィ、西のクレープ屋前にいます・・・」

カービィ「そうだ！クレープ買おう！」

ハンター「！！！！！！！！」

カービィは見つかってしまった・・・

カービィ「おいしそう！」パクッ！ポンッ

ハンター「・・・・・・・・・・・・・・・・」(やわらかいな・・・)

カービィ「え〜〜〜〜〜〜〜〜！！」

カービィ確保(裏切り者通報)

残り32人

残り時間85分30秒

マリオ「カービィ捕まったのかよ！」

トウーン「あつた！店！」

なんとこの遊園地には2つの店がある。どっちにもバッチは売っている

トウーン「バッチください！」

店長「どうぞ、メダルを1枚になります」

トウーン「はい！」

店長「ありがとうございます」

管理室前

マスター「暇だ・・・」

「????&?????」「おーい！」

マスター「あつ、ネスとリュカかやるよ、バッチ」

ネス&リュカ「ありがとう！」

「????」「こんなところにあつた・・・ゼーゼー」

マスター「マルスカ・・・」

マルス「バッチちょうだい・・・ゼーゼー」

マスター「ほれ・・・どうしたんだ？」

マルス「ハンターに追われたけど振り切ってきたのさ・・・ふう・・・」

「」

ネス&リュカ「すごい！」

マルス「まあね・・・はーはー」

「????」「リザードン、正面ゲート前にいます・・・」

ハンター2体「!!」

リザードン「おつ、ハンター来たな！」

まあ、逃げ足がおそいので・・・ポンッ

リザードン「くそー」

リザードン確保(裏切り者通報)

残り31人

残り時間84分50秒

トレーナー「リザードン捕まった！しかも、裏切り者！」

ゼニガメ「リザードン、捕まってしまったのか」

その頃、ピカチュウは

ピカチュウ「くそー速いハンターめ！」

逃げていた・・・

いまピカチュウはハンターと同じ速さで走っている・・・いつスタミナが落ちてしまうかは時間の問題だ・・・

先に力尽きたのはピカチュウだ・・・  
ピカチュウ「スタミナ切れちゃった・・・」ポンッ

ピカチュウ確保

残り30人

ピカチュウ「捕まっちゃった・・・」

牢獄

デデデ「ピカチュウ確保ゾイ！」

全員「あー！あー！・・・」

ワリオ「でも、さっきここ走って行ったよな？それから案外時間かかっているが・・・」

ゼルダ「あつ、本当だ！」

ピーチ「頑張ったピカチュウが来たよ！」

ピカチュウ「捕まっちゃった・・・」

ガノンドロフ「でも、よく頑張ったぞ！」

全員「うんうん」

ピカチュウ「ありがとうみんな」

友情が芽生えたかな？

サムス「あつ、お店だわ！」

ガラッ！

サムス「あのー、バッチください」

店員「あいよ、バッチ、メダル1つね」

サムス「どうも・・・」

サムス「これで、ハンターに狙われないね・・・ってハンター！」

ハンター「！！！！」たたたた

サムス「キヤーーー」ポンッ

サムス確保

残り29人

ピット「あつ30人切った!」

???「ポポとナナ、観覧車前にいます・・・」

ハンター2体「!!!」

たたたたた

ポポ「あつハンターだよ!」

ナナ「分かれましょ!ポポ!」

ハンター「!!!」

ナナの進んだ場所に別のハンターが走ってきた

ポポの方に追いかけたハンターが

ナナ「キャーキャー!」ポンッ

ポポ「わーわー!」ポンッ

ポポ、ナナ確保(二人とも裏切り者通報)

残り27人

マリオ「もう、7人も裏切り者が通報してるよ!」

ルイーダ「裏切り者、捕まったらたぶん死んだね・・・」

バッチ持つてる人

マリオ・ルイーダ・リンク・トゥーンリンク・マルス・アイク・ネ  
ス・リユカ

持っていない人

ドンキー・ディディー・ヨッシー・シーク・ピット・ロボット・メ  
タナイト・オリマー・フォックス・ファルコ・ウルフ・ファルコン・

ポケモントレーナー・ゼニガメ・フシギソウ・プリン・ゲーム&ウ  
オッチ・スネーク・ソニック

確保者

ピーチ・クツパ・ワリオ・ゼルダ・ガノンドロフ・サムス・ポポ・  
ナナ・カービィ・デデデ・ピカチュウ・リザードン

残り人数27人

残り時間84分

**バッチ買いと案外逃走者減るぜ！（後書き）**

マリオ「たしかに人数がかなり減ったな・・・」

スマッシュ「でしょでしょ！」

ルイーダ「でも、裏切り者通報が多い・・・」

スマッシュ「そうだったか？」

マリオ・ルイーダ「そうだよ！」

もう、1週間伸ばします。裏切り者誰か当ててね。

バッチ買いにいきつぜ！（前書き）

スマッシュ「今のところゲスト参加者4人」

マリオ「もう、4人来たのか！」

スマッシュ「でも、まだ出さないよミッション終わったから  
ルイーダ「やっぱりね・・・」



バッチ買いにいこうぜ！

ドンキー「早くバッチ買わないといかないぞ！」

デイディー「でも、何処にあるの？」

今いる建物の逆の位置にある・・・

ドンキー「いったんこの建物を回ってみるか！」

勘が当たった。

デイディー「あっ、マスターがいるよ！」

マスター「よっ、バッチやる」

ドンキー・デイディー「ありがとう」

マスター「ムッ！もう一人来たようだ」

???「ヨッシーだよ」

ドンキー「よっ！ヨッシー！」

ヨッシー「どう考えても駄じゃれみたいだね・・・そうだ！バッチ

ちようだい！」

マスター「ほれ！」

ヨッシー「ありがとう！じゃあね」

トレーナー「この辺だよね・・・店・・・あつた！」

ガラッ！

???「うるせい！こつちが先に買うんだ！お前は後で買え！」

???「なんだと！？こつちお前より先に買うんだ俺は！」

トレーナー「あっ、ファルコとウルフ！」

ファルコ・ウルフ「あっ、トレーナーのレッドか」

レッド「何してるんですか？」

ファルコ「何？ってバッチをどちらが先買うかもめてるんだよ！」

レッド「そんなケンカしなくても・・・」

ファルコ「いいか！ウルフ！先に来たのは俺だから俺のものに手を出すな！」

ウルフ「なんだと!? ファルコ! このバッチは先に取ったんだ!」  
レッド「まあいいや店員さんこれちょうだい!」

店員「わかった! メダル1つだぞ!」

レッド「はい!」

店員「ありがとうございます!」

レッド「じゃあね、ファルコとウルフ!」

その後

フォックス「何してるんだ? お前達・・・」

以下省略ファルコ・ウルフ「おい!」

別の店

ゼニガメ「あつた、バッチ! これちょうだい!」

店長「どうぞ! 1メダルだよ」

ゼニガメ「はい!」

店長「どうもありがとうございます!」

その後

ピット・ロボット・ゲーム&ウォッチ「バッチ下さい!」

店長「あいよ! 1つ1メダルだよ!」

ピット・ロボット・ゲーム&ウォッチ「ハイ!」

店長「ありがとうございます!」

管理室前

マスター「おつ来た来た! 2人だな丁度あるよ!」

その2人は

ファルコン「おお、サンキューマスター!」

スネーク「これで観覧車から降りてくるハンターにはきずかれない

!」

とうとうこれでマスターからもらえるバッチはなくなった・・・

店

ソニック「早く買わないとな！」

店員「これですねどうぞ！」

ソニック「Thankありがとうございます！」

フシギソウ「あっ、ソニック！」

ソニック「フシギソウが早くバッチ買いな！」

フシギソウ「わかったよ」

店員「ありがとうございました！」

残り時間 81分 ミッション終了まで残り1分  
持っていない人

シーク・オリマー・メタナイト・プリンだけだ！

シーク「あと1分か捜さないとな」

オリマー「家族のためにもミッションクリアしなければ！」

メタナイト「なに！？アイテム屋がない！」

プリン「どこ〜アイテム屋〜」

5 9

5 8

5 7

5 6

5 5

5 4

5 3

5 2

5 1

????「あつたバッチ下さい！」

店員「あいよ！」

4 9

4 8

4 7  
4 6  
4 5  
4 4  
4 4  
4 3  
4 2  
4 1  
4 0  
???「こんなところにあった。バッチ下さい」  
???「こつちも下さい！」  
残りミッション時間10秒

- 9
- 8
- 7
- 6
- 5
- 4
- 3
- 2
- 1

ミッション終了  
時間ストップ！  
残ったのはメタナイト・・・  
メタナイト「ハンターからどう逃げよう・・・」  
（裏切り者は今だけメタナイトを通過できる）  
???「メタナイト、正面ゲート前にいます・・・」  
全てのハンター「!!  
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!」  
メタナイト「なんだ！ハンターが大量に来る！逃げないとな！こつちからも来る！もう駄目か・・・」

あきらめたようだ  
ポンッ

メタナイト確保（裏切り者通報）  
残り26人  
残り時間80分

バッチ買いにいこうぜ！（後書き）

スマッシュ「もう待てないから次回作者人登場させるから！」

マリオ「おいおい、登場させるのかよ・・・」

ルイーダ「いいんじゃないの？兄さん？」

新しい逃走者が出るぜ！（前書き）

マリオ「8人の作者出すんだろ？」  
スマッシュ「うん」

## 新しい逃走者が出るぜ！

ブルルルルル

メールだ・・・

マルス「えーと、通達だね『これから新しい逃走者が増える』やっ  
たー！」

アイク「『新しい逃走者の人数は8人』そうか」

シーク「『今、80分から入れたところだ』よかった全員逃走失敗  
にならなくてすむな・・・」

リンク「『新しい逃走者の名前は、しら、ryouki、竜斗、夢  
幻、ギルバート、ゆうたん、死神魔姫、

ほーき雲の作者たちだ・・・』やっとなたね」

しら「よし、頑張るぞー！」

ryouki「逃げ切りたいです！」

竜斗「僕はミッションも行くぞ！」

夢幻「移動しよう」

ギルバート「この辺ハンター出ないよな？」

ゆうたん「この辺は大丈夫かな？」

死神魔姫「やだな〜ハンター出そう・・・」

ブルルルル

ほーき雲「あつ、メールだ！」

しら「えーと、わつやり始めてからいきなり難しいな〜」

ryouki「『今時間増加装置が作動した』やばい！」

竜斗「『時間増加装置が動してる間も賞金が増えていく』ふーん」

夢幻「『タイマーを止めるとその時間が「25分」の場合30分  
まで加算される』えっ！」

ギルバート「『健闘を祈る』か・・・行くか！」



ミッション？

時間タイマーを止める！

ある場所に時間増加装置が設置された

しかし、これも1秒ごと200円、賞金が増えていく  
しかし、早く止めないと時間がかかり延びてしまう！

ゆうたん「早く行こう！」

ルイージ「よし、行こう！・・・わっ、ハンターだ！でも大丈夫！  
これがある！」

ルイージは冷凍銃（小）を装着した

ルイージ「それ！」ブシューーーーーー！

ハンター「！！！！！」ピタッ！

ハンターが止まった。このハンターは30分後行動開始される  
ルイージ「すごいな！でも、あと1つか・・・」

プルルルルル

マリオ「なんだ！」

リンク「ルイージが冷凍銃（小）でハンターを一時停止させた」  
へーーーーー」

次回、時間増加装置を止めよーぜ！

新しい逃走者が出るぜ！（後書き）

スマッシュ「この小説読んでる人わかったかな？」

マリオ「何が？」

スマッシュ「この小説のサブタイトルがクレイジーが言ってること」「ルイーザ」わかってるんじゃない？」

時間増加装置を止めよーぜ！（前書き）

スマツシュ「ほとんどの人がミッションに行くようだけど・・・かなり難しいよ！だって、僕がアレンジしたものだから」  
全員「うそ～～～！」

時間増加装置を止めよーぜ！

ルイーダ「何処にあるかな？」

ブルルルル

シーク「メールか・・・」

しら「えーと、通達か」

竜斗「『いろんなところに君達を助けるアイテムを宝箱の中に入れて置いた』やったぞ！」

ryouki「『しかし、20分たてばその宝箱は勝手に消滅する』  
えー」

夢幻「『もう一つ、その宝箱には名前が書いてある』えっ！名前？」

ゆうたん「『その宝箱に書いてある名前の逃走者だけが開けられる』  
ちよつとハードかな？」

通達

どこかに逃走者の数だけ宝箱を設置した

逃走者が捕まるとその逃走者に有利なアイテムの宝箱が消える

宝箱にはその開けられる名前が書いてある

宝箱が開けられるのは名前に書いてある逃走者だけだ！

マルス「ありました、宝箱！名前は・・・アイクか・・・何処にあるのかな・・・」

ヨッシー「あつた！宝箱に書いてる名前は・・・私ですね！それ！  
あつこれは！」

中身は『牢獄の中にいる逃走者たちが1人復活するカード』だ  
ヨッシー「これはいいですね！では、さっそく牢獄のところへ行き  
ましようー！」

牢獄前

ヨッシー「みなさ〜ん！」

クツパ「なんだ？ヨッシーか」

クレイジー「どうした！」

ヨッシー「これ」

クレイジー「おお、これは！牢獄から1人復活できるカードか！」

牢獄者達「えっ！」

ワリオ「ヨッシー！俺様をだせ！」

クツパ「いや、お前のような、おっさんは金目当てだけだ！」

ガノンドロフ「……………」

ピカチュウ「僕をだしてくれないかな？」

ヨッシー「ピカチュウさんが一番頑張ったのでピカチュウさんを出してください！」

クレイジー「わかったよ！ほれ！」

ピカチュウ「ありがとう、ヨッシー！」

ヨッシー「どういたしまして」

ワリオ「どういうことだ！ヨッシー！」

ヨッシー「あなたは何も頑張っていないでしょ！」

牢獄の人たち（ワリオ以外）「あっ、しぼんじやった」

ワリオ「こりゃ脱走できるぜ！」

クレイジー「こりゃいいやちょうどハエたたきがしたかったんだ！」

パシーン！

ワリオ「ぎゃーーーーーー！」

全員「あらら……………」

ブルルルルル

プリン「何ですか？」

ウルフ「ヨッシーが1人復活させた、そいつはピカチュウだ！」

すごいな！」

トウーン「ヨッシーさんすごいー！」

マリオ「この辺に宝箱・・・あった！名前は『マリオ』！俺のだな！これは！」

マリオはGPSを手に入れた

マリオ「逃走者とハンターとミッションの出た場所がある！えっ！何でじゃ〜〜！」

マリオが見たGPSにはミッションの行く場所が10個あった  
マリオ「これじゃ、30分超えるよ・・・どうしよう・・・」  
現在メールと電話が出来ない状態になっている

その頃

ファルコン「むっ！これが時間増加装置だな！」ガシャン  
ファルコン「？何も起こらないな？どういうことだ？」

マリオ「あっ、ファルコンがレバーを下げた！よかった！あと9個か・・・」

ファルコ「疲れた・・・ジュースでも飲むか・・・しまった、コイン1枚しかなかった・・・」

そうどんな買い物もこのコインで払うのだ！

ファルコ「仕方がないな・・・」

リンク「あっ宝箱だ！しかも私の名前が」ちゃららららららららら  
・ちゃららららら！

リンクはダッシュブーツを手に入れた

リンク「なぜ！？効果音が・・・」

マリオ「リンクはダッシュブーツを手に入れたのか」

GPSには手に入れたアイテムの名前も書かれている

マリオ「できれば、全員にメールできたら良いんだけど・・・」

あいにく出来ないようだ

ソニック「What that?レバーがついてる機械があるようだが・・・」

装置の目の前

ソニック「もう装置downしてるじゃないか!でも、メールが来ないのはなぜ?」

違うところ

ピット「違うところで見かけたけどこれ何個もあるんじゃないだろうか・・・。まあいいや」ガシャ!

残り8個

現在90分(10分経過)

マリオ「10分で2個か・・・難しいな・・・」

???「あっマリオさん!」

マリオ「なんだ?あっ!レッドか!」

レッド「どうしたんですか?こんなところで立ち止まって・・・あつ!GPSじゃないですか!これでわかりますね!」

マリオ「そうなんだが・・・メールできないせいでみんなに伝えられない・・・どうしよう」

レッド「あと8個あるんですね!じゃ僕が他の人に会ったら伝えときます!」

マリオ「待つて!俺もついていくよ!GPS持つてるから!」

レッド「そうですね!なにかあったらいつてください!」

マリオ「よろしくな!」

次回、早くとめないといけないぜ!

現在、状況・・・（前書き）

今日、弟の誕生日だ・・・



## 現在、状況・・・

### 残り逃走者

マリオ・ルイージ・ドンキー・デイディー・ヨッシー・リンク・シーク・トウリンリンク・ピット・  
ロボット・オリマー・フォックス・ファルコ・ウルフ・ファルコン・  
ピカチュウ・ポケモントレーナー  
(レッド)・ゼニガメ・フシギソウ・ルカリオ・プリン・マルス・  
アイク・ネス・リユカ・ゲーム&ウオッチ・スネーク・ソニック・  
しら・ryouki・竜斗・夢幻・ギルバート・ゆうたん・死神  
魔姫・ほーき雲

### 確保者

ピーチ・クッパ・ワリオ・ゼルダ・ガノンドロフ・サムス・ポポ・  
ナナ・カービィ・メタナイト・  
デデデ・リザードン

残り時間(今、時間が増えている) 95分

残り人数 36人

### 現在ミツシヨン

時間増加を止める!

残り8個

### 現在通達

名前の書いてある宝箱出現!

現在、宝箱からアイテムをとった人 (使)は使った人  
マリオ・・・GPS

ヨッシー・・・復活カード(使)  
リンク・・・ダッシュブーツ

とつくにアイテムを持っている人  
ルイージ・・・冷凍銃(小)残り1個

現在、状況・・・（後書き）

すまんルカリオ忘れてた！  
ルカリオ「おい！」

早く止めないといけないぜ！（前書き）

マリオ「何処にあるかわかるぞ！」

レッド「そうですね！」

早く止めないといけないぜ！

マリオ「GPSによるとこの辺に・・・」

レッド「ありました！」

マリオ「あつたか！つて、ああ！」

レッド「レバーが3つありますね・・・」

マリオ「どうしようか・・・」

レッド「違うところ探してみませんか？」

マリオ「でもな、違うところへ行くとこのレバーが下がらないと思っぞ！」

レッド「じゃあ待つしかないですね・・・」

???「あつ、マリオとレッドか！」

マリオ・レッド「あつ！ルカリオ！」

ルカリオ「ああ、どうしたんだ？」

マリオ「このレバー3人じゃないと下がらないんだ！」

ルカリオ「では、私も手伝おう！」

レッド「じゃあ、行くよ！それ！」ガシャン！

残り7個

マリオ「なあ、ルカリオ！一緒についてきてくれ！」

ルカリオ「なぜだ!？」

レッド「実は装置の数が10個あつたんです。今で3つ阻止しましたけど・・・」

ルカリオ「そうか！では、ついて行こう！」

レッド「ありがとう！」

ルイージ「この辺にあるのかな？あつた！」

ルイージの前に自分の名前の書いた宝箱があつた

ルイージ「あけてみよう！それ！あつ、これは！」

ルイージは「冷凍銃（大）が入っていた

ルイージ「なんでこんな大きいの！あつそういうことか！」

ルイージは冷凍銃のスイッチのところを押した

冷凍銃が作動した！

ゴーーーーーッ！

その10秒前

シーク「ムツ！ハンターか・・・逃げなくちゃいけない・・・」

ハンター「！！」

たたたたた

シーク「きたか！」

3

2

1

ハンターは停止した

シーク「なぜだ!？」

ブルルルルル

ピカチュウ「なに!？」

フシギソウ「ルイージが宝箱にあつた冷凍銃（大）を使ってハンターを停止した」すごいね！」

ゼニガメ「停止したハンターは40分間動かない」やったー！」

プリン「それと、前回ルイージが停止させたハンターは70分停止した」へー！」

マリオ「ルイージはすごいな！」

レッド「これだと裏切り者も40分間通報できないね！」

????「はくしょん！誰だ、噂したのは！これじゃ、通報できないじゃないか！くそーー！」

ルイージ「また、僕が目立つちゃった・・・あれ？まだ続きがある

！」  
シーク「ルイージが冷凍銃を作動させたせいで宝箱が名前に関係なくあけられるようになった」  
ドンキー「それと、携帯電話が復旧した！」やったぞ！  
マリオ「これでみんなに電話できる！」  
レッド「一斉メール出しますね！」

プルルルルル

ファルコ「なんだ？レッドからのメール？」

ウルフ「みんな！大変なことがわかったよ！今のミッションの装置は10個あるよ！」何！？

ファルコン「今、全部で3個クリアしたから残り7個だよ！」そうか、だから、クリアメールが来なかつたんだな！」

マリオ「ありがとよ！レッドとルカリオ！」

ルカリオ「礼には呼ばないぞ！」

レッド「僕こそありがとうございます！」

フォックス「あつたぞ！装置が！それ！」ガシャン！

残り6個

オリマー「これですね！おりゃ！」ガシャン！

残り5個

スネーク「これだな！それ！」ガシャン！

残り4個

現在18分増加

しら「これだよな？それ！」ガシャン！

残り3個

ギルバート「これだ！よし、下げよう！」ガシャン！  
残り2個

夢幻「あつた！つてああ！2人必要だ！どうしよう！待ってようかな？」

ゆうたん「あつ！夢幻さん！」

夢幻「あつ！ゆうたんか！じゃ、下げるぞ！それ！」ガシャン！  
残り1個

現在19分30秒経過（残り31秒で30分になってしまう）

ryouki「あつた！わつあと10秒だ！走らないと！」

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

ガシャン！

リンク「ミッション報告！」

トウイン「『ファルコン・ピット・マリオ・レッド・ルカリオ・フ  
オックス・オリマー・スネーク・

しら・ギルバート・夢幻・ゆうたん・ryoukiのおかげで時  
間増加が止まった』よかった！」



ほーき雲「『しかし、20分を超えてしまったのでまで伸びる』え  
ー！ー！」

ryouki「うわー！惜しかったな。あつ宝箱だ！」ガチャ

ryoukiは落とし穴の種×3個をゲットした

ryouki「遊園地に落とし穴の種っておかしくない!？」

次回、時間が110分から再スタートだぜ！

早く止めないといけないぜ！（後書き）

マリオ「みんなに連絡できてよかったぜ！はぁ……はぁ……はぁ……」

レッド「そうですね！はぁ……はぁ……」

スマッシュ「どうしたんだ？」

マリオ「ハンターに追われたんだよ！はぁ……はぁ……」

レッド「まあ、撒いたからいいんだけどね……ふう……」

時間が110分からスタートだぜ！（前書き）

マリオ「惜しかったな！」

ryouki「そうですと！」

時間が110分からスタートだぜ！

ハンターは残り80分でになると再起動する・・・  
現在賞金84万円

ファルコン「ルイージのおかげで捕まらずにすむな！」

ハンターに捕まる要素も無いのでミッションを入れる（by 月村サトシ）

ブルルルルルル

ルイージ「うゝん、なんだ！？人が休んでるのに！」

ソニック「What? mission! なぜだ！」

マリオ「今からハンターを増加する装置が出された！」また、こういうパターンか！」

シーク「この装置は人数10人でレバーを下ろさなければいけない」ほとんど行かないといけないのか！」

フォックス「しかし、下ろせる逃走者が決まってる！」何!？」

ファルコン「その逃走者10人の名前を言う！」誰が行かなければならないんだ！」

ウルフ「マリオ・ルイージ・ドンキー・ヨッシー・リンク・フォックス・ピカチュウ・ファルコン・プリン・ネスの10人だ！」そうか！では、行かなくていいな！」

ドンキー「その10人が捕まったりするとレバーが1つずつ減っていく！」責任重大だな！」

ピカチュウ「ハンターが出る時間はこうなっている」いつ出るんだ？」

ヨッシー「105分、100分、95分、90分ごとに10体ずつ出てくる」そうなのー！」

プリン「もし、失敗すると即座に新しいミッションを用意する！」  
ふーん・・・大変ね・・・」

ミッション？

ハンター増加をを阻止しろ！

あるエリアのところに10個のレバーがついた装置が設置された！  
5分ごとにハンター10体が放出される最大で40体放出する！  
それを止められる逃走者は・・・

マリオ・ルイージ・ドンキー・ヨッシー・リンク・フォックス・ピ  
カチュウ・ファルコン・プリン・ネスだけとなる

なお、1人捕まると1つレバーが下りることになっている！

マリオ「なら行かないといけないじゃないか！」

ルイージ「良く考えれば初代のスマブラ参戦者じゃないか！」

ドンキー「うほー！頑張るぜ！」

ヨッシー「ピカチュウを助けてなければこのミッションでなかった  
のに・・・」

ピカチュウ「はくしょん！誰！？噂したの!？」

フォックス「やっぱり行かないといけないのかな？」

リンク「どこにあるのかな？」

ファルコン「探すきや無いだろ！」

ネス「僕が責任重大か・・・」

プリン「頑張るよ！」

その他のみんな「頑張ってくれ！」

マリオ「このGPSを使えばいけるんだよな！あれ？  
ぶずぶず・・・」

マリオ「壊れてたのか・・・。どうすりゃいいんだ!?!あつ！宝箱  
だ！」

パカッ！

マリオは確保者引換券をゲットした！

マリオ「確保者引換券かミッション終わったら行こう！」

クレイジー「マリオが確保者引換券をゲットしたぞ！」

ルイージ「この辺にあるそうなんだけど……。あつたけど……。宝箱か……。開けてみよう！」

パカッ！

ルイージは無敵サングラスをゲットした

ルイージ「これはいいやでも今つけても意味無いな……」

現在時間108分

一回目ハンター放出まであと3分

リンク「こんなところにあつた！9人に一斉メールしよう！」

ブルルルルル

プリン「あれ？リンクからメールが……」

フォックス「場所がわかつたよ！また、スマブラ観覧車の前にあるよ！」あそこか……。かなり遠いな……」

残り1分

リンク「あつ！誰か来た！」

プリン「疲れた！」

リンク「プリンか！ここだよ！」

マリオ「さすがに走るのはきついな！」

リンク「あつ！マリオさんも！」

残り30秒

マリオ「みんな来ないな・・・」  
リンク「遠いところにもいるのでしょうか・・・」  
プリン「・・・・・・・・」

プシューーーー！

ー一回目ハンター放出

シーク「あそこでハンターが放出したな！逃げるか！」

次回、裏切り者、教えるぜ！

**裏切り者、教えるぜ！（前書き）**

マリオ「もう、作者たちには教えてるんだよな？」  
スマッシュ「おう！」



裏切り者、教えるぜ！

裏切り者の正体は……

マルス「お金 お金」

マルスだった……

1人目 クツパ

マルス「おっ！クツパがいる！最初だから通報してみるか！クツパ、スマッシュ観覧車前にいます！」

20秒後……

マルス「捕まった！捕まった！いま＋10万か……。いっぱい通報しよう！」

2人目 ゼルダ

マルス「二人目発見！さっそく通報！ゼルダ、ジェットコースター前にいます！」

30秒後……

マルス「捕まったね！現在＋20万だ！」

3人目 ガノンドロフ

マルス「遅いヤツ発見！通報！ガノンドロフ、メリーゴーランド前にいます」

15秒後……

マルス「やったー！これで＋30万だ〜！」

4人目 カービィ

マルス「カービィか……。クレープ買うから今のうちだね！カービィ、西のクレープ屋にいます」

10秒後……

マルス「目の前で見てすぐ捕まったね・・・きずかなかったのかな？」

5人目 リザードン

マルス「またもや遅いヤツ発見！リザードン、正面ゲート前にいます」

20行後・・・

マルス「遅いヤツを狙っていくといいけど捕まると後が怖い・・・」

6人目 ポポ

7人目 ナナ

マルス「あっ！二人いる！しかもあのコンビか・・・通報しよう！ポポとナナ、観覧車前にいます」

20秒と30秒後・・・

マルス「ポポとナナ捕まった！いま＋70万か！案外たまつたね！」

8人目 メタナイト

マルス「今も通報できるんだよね？剣士誰も捕まってないから。メタナイト、正面ゲート前にいます」

10秒後・・・

マルス「案外、あっさりだったな・・・。今＋80万もつと通報しよう！」

ルイージが冷凍銃（大）でハンターを凍らしたとき

マルス「ハクシヨン！誰！？噂したの！？これじゃ、通報できないのか！くそー！」

次回、早くハンター増加装置止めやがれよ！

早くハンター増加装置止めやがれよ(前書き)

フォックス「遠！」

## 早くハンター増加装置止めやがれよ

10分経過ハンター放出現在24体

フォックス「あと1キロか・・・」

ドンキー「こっちがいいかな？」

ピカチュウ「あそこだ！」

ヨッシー「あつピカチュウさん！」

ピカチュウ「あつ！ヨッシー！久しぶり！早く行こう！  
ヨッシー「そうですね！」

逆から

ファルコン「あそこだな！」

ネス「あつ！あそこにファルコンがいるよ！ルイーダ」

ルイーダ「ほんとだ！もうすぐだね！」

ネス「おい！ファルコン！」

ファルコン「ムッ！ルイーダとネスか！あそこだぞ！」

ルイーダ「早く行こうよー！」

マリオ「両方から来たよ！」

リンク「こっちですよ！」

プリン「早く来て！」

ファルコン「早く下げよう！」

マリオ「まっしてくれあと2人足りないんだ！」

ドンキー「この森を抜けたらレバーのあるところだな！」

マルス「あつ！ドンキー！通報しちやえ！ドンキー、迷いの森パ-

クにいます」

ドンキー「げっ！ハンター！」

ハンター2体「！！！」

ドンキー「挟み撃ちか！もう駄目だ……」

ポンッ

ドンキー確保（裏切り者通報）

残り35人

残り時間98分

マリオ「迷いの森パークってこの辺だったよな……」

リンク「やばいかも……」

ピカチュウ「見て！レバーが下がったよ！」

15分経過ハンター放出34体

フォックス「あと500メートル！」

マリオ「遠くにフォックスらしき人影……いや動物影確認！」

ファルコン「どれくらいかね、マリオ君！」

マリオ「約500メートルです！」

ファルコン「うむ！」

リンク「なに、してるんですか？」

ルイーダ「暇つぶしだって……」

プリン「へー」

残り93分

フォックスと装置の距離 300メートル前後

フォックス「いま、92分30秒！あと240メートル！」

マリオ「がんばれ！フォックスー！」  
フォックス「スリッピーのまねするなー！」

残り100メートル 時間91分

フォックス「間に合え！」

ハンター「！」

フォックス「ハンターか!？」

フォックス「ぎゃーー！」

ぽん・・・

フォックス確保

残り34人

残り時間90分20秒

マリオ「フォックス確保！今のうちにレバーを下ろそう！」

ガチャン！

ミッシュヨンクリア！

現在ハンター34体

マリオ「しかし、ハンターが34体!？違うところへ逃げるやつと  
か出るのか？」

プルルルルルルル

リンク「メールだ！」

ピカチュウ「『現在ハンターが34体いるから』いるから？」

ファルコン「『新エリアへ向かえ!』ほー」

ルイーダ「『しかし、新エリアへ行くにはメダルが必要になる』う  
そー！」

ミッション？

新エリアへ向かえ！

あるところに新エリアへ行くゲートが現れた！

このゲートをくぐるにはメダルが必要になる！

残り60分になると終了してしまう

ミッション失敗すると強制失格！

現在のメダルの数

2枚

ルイーダ・リンク・ネス・リュカ・マルス・ディディー・ヨッシー・  
ファルコン・スネーク・ピカチュウ・しら・ryouki・竜斗・  
夢幻・ギルバート・ゆうたん・死神魔姫・ほーき雲  
1枚

マリオ・シーク・トウーン・ピット・ロボット・オリマー・ファル  
コ・ウルフ・レッド・ゼニガメ・フシギソウ・ルカリオ・プリン・  
アイク・ゲーム&ウオッチ・ソニック

0枚

無し

マリオ「強制ミッション多いな・・・しかも、このメダルがまた必  
要とは・・・」

ファルコ「危な！ジュース買ってたらミッション失敗だった！」  
危なかったなファルコ・・・

ルイーダ「2枚あるから自首も考えられるね！」

マリオ「あっ！そういえばこの確保者引換券を忘れてた！行こう！」

牢獄でトーク

デデデ「マリオ遅いゾイ！」

クツパ「仕方ないだろヒーローは後から来るって！」

ガノンドロフ「……………」

デデデ・クツパ「なんか喋ろよ！」

ガノンドロフ「俺なんか出してくれるか！」

ピーチ「まあまあ、紅茶できたからどうぞー！」

ゼルダ「おいしいですね」

ピーチ「どういたしまして」

ワリオ「ふにやー……」

クレイジー「このハエどうしようかな……」

全員「……ww」

マリオ「みんなー！」

全員「マリオ」

クツパ「ほら言ったとおりだろ！」

マリオ「クレイジーこれ！」

クレイジー「ああ！ん？……………」

デデデ「どうなんだゾイ？」

クレイジー「ありがとよ！マリオ！」

マリオ「どういたしまして！」

クレイジー「もう、逃げていいぞ！」

マリオ「あれ？だれか選ぶんじゃないのか？」

クレイジー「ああ、いいぞ。あつハンター来たぞ！」

マリオ「わかった！」

デデデ「クレイジー！何が書いてあったんだゾイ？」

クレイジー「これのことだ！」

クツパ「そこか？貸してみる！読んでやる！なにに？『確保者復

活ミッションあり。この効果は今のミッションが終わったらスター

トする！』おあー！」

ワリオ「脱出できるって言うんだな！」



全員「あっ復活した！」

次回、早く新エリアへ行けよ！

早くハンター増加装置止めやがれよ（後書き）

スマッシュ「自分の小説を読み直して今思ったけど、なぜネスとリユカ通報しなかったの？」

マルス「彼らの攻撃かなり痛いからね。やめといたのさ！」  
スマッシュ「そうかな・・・」

早く新エリアへ行けよ！（前書き）

マリオ「あの券なんだっ たんだろう？」

早く新エリアへ行けよ！

シーク「あそこだな！」

シーク「コインだ！」

スタッフ「どうぞ！」

シーククリア

ファルコ「よし来れたぞ！コインやる！」

スタッフ「ありがとうございます！」

ファルコクリア

マリオ「何処にあるんだ？」

ルイージ「また、宝箱だ！」

ガチャ！

ルイージ「冷凍銃（3つ）また、数が増えた！」

ルイージ「現在冷凍銃5個

ルイージ「どんどん重くなっていくよ……」

ファルコン「うおー！どこだー！」

しら「ありました！」

スタッフ「コインありますか？」

しら「あります！」

スタッフ「どうぞ！」

しら「ありがとう！」

しらクリア

ウルフ「ムツ！宝箱か！」

ガチャ！

ウルフ「GPSか。重要なものだな！そうだ！一斉メール出そうか！」

ブルルルルルル

マリオ「何だ！」

リンク「ウルフからのメール！」

プリン「『新エリアに行くゲートは裏ゲートにある！』裏ゲート？」

裏ゲートというのは裏遊園地ゲートである！裏遊園地と言つのは地下にある遊園地である！ある数は3個！

プリン「転がって行こうかな・・・」

残念ながらそれは駄目だ

マリオ「強制失格になってしまふのはいけないから、早く行こう！」

マルス「そのうちの1つの裏ゲートに行って待ち伏せしよう！」

ピカチュウ「早く行かなくちゃ！」

竜斗「あつた！はい、コイン！」

スタッフ「ありがとうございます！」

竜斗クリア

ブルルルルルル

スネーク「何だ！？」

ファルコン「メールか！」

ルカリオ「『逃走者たちのためにアイテムを売った！』なんだ？」

フシギソウ「そのアイテムを買うにはコインが必要になる!」ええ!

ギルバート「あそこにアイテム屋がコインは2枚あるから買つか!」  
店員「いらっしやい!」

ギルバート「なにか、アイテム売ってるか?」

店員「これはどうです?」

ギルバート「なんだ?これは?」

店員「タイマースローマシンです」

ギルバート(タイムマシンみたいだな・・・)「コイン1枚だな!」  
?」

店員「はい!」

ギルバート「ほれ!」

店員「ありがとうございます!」

ギルバート「使ってみるかな?」ポチツ!

キュウイン!

ギルバート「本当に遅くなった!」

ブルルルルルル

ヨッシー「何!?!」

ryouki「メールですか」

竜斗「時間が遅くなって残り30分までゲートに入れるようになった!」  
『すごい!』

ゆうたん「遅くなったおかげでハンターも遅くなったんじゃない?」

夢幻「そっだろうな」

次回、早く入らなくてもいいのか?

早く新エリアへ行けよ！（後書き）

牢獄でトーク

クレイジー「はーやーくー、おーわーりーやーがーねー！」

ワリオ「こーえーがー、ゆーっーくーりーにーなーてーるーぞー！」

ゼルダ（遊んでるのかしら・・・）

早く入らなくてもいいのか？（前書き）

クレイジー「はーやーくー、おーわーれー！」  
面白いわね（bypitch）



早く入らなくてもいいのか？

マリオ「ハンターだ！」

ハンター「……！！……！！」

ハンターも早さが2分の1になっている

マリオ「遅いやでも、早くもつかまってしまっからさっさと行こう」

ソニック「見つけたぜ！」

スタッフ「裏遊園地へようこそ！」

ソニック「コインだぜ！」

スタッフ「ありがとうございます、楽しんできてください！」

ソニッククリア

竜斗「こんなところに……」

スタッフ「裏遊園地に行くんですね！コイン1枚です」

竜斗「はい、どうぞ！」

スタッフ「ありがとうございます、行ってらっしゃいませ！」

竜斗クリア

マルス「どうしようか大量にハンターを呼ぼうかな……あっ！デイディー、正面ゲート前にいます。」

それと20体のハンターで捕まえてください」

ハンター「……！！……！！……！！」

デイディー「あっ！ハンター！でも、遅いから助かるー！」

デイディーは調子乗ってるようだ、この後デイディーに襲い掛かるハンター！

マリオ「あつた！ゲート！」

スタッフ「裏の遊園地へ行くのですね？」

マリオ「ああ！はい、コイン！」  
スタッフ「どうも、行ってらっしゃいませ！」  
マリオクリア

その後クリアした人

リンク・トウインリンク・ピット・ロボット・オリマー・ウルフ・  
レッド・プリン・アイク・ネス・  
ゲーム&ウオッチ・ryouki・ゆうたん・ほーき雲  
クリアしていない人数  
14人(多分ね・・・)

デイディー「ハンターがたくさん来た！逃げにくいよ！だつて横一  
列だから！」

そう、ハンターは頭を使って一列になってやってきたのだ！

デイディーは逃走不可能となった・・・  
ポン

デイディー「遅いのに負けちゃったよ・・・」

デイディー確保(裏切り者通報)  
残り33人

牢獄

デデデ「デイディー確保ゾイ！」

みんな「あー・・・」

クッパ「でも、復活出来るんだろ？」

クレイジー「残念だが無理だ！」

ドンキー「なぜだ!？」

クレイジー「このミッションの間につかまったヤツは復活ゲームに  
は参加は無視されている」

デイディー「つかまったよ・・・」

ワリオ「残念だったな、デイディーよ！」

デイディー「えっ！何が？」

ピーチ「復活ゲームをすることよ」

デイディー「じゃあ、僕がクリアしたら復活できるんだね！？わー  
いわーい！」

ドンキー「……いや、それがだな……」

デイディー「どうしたの？」

ドンキー「復活ゲームの参加者はこのミッションで捕まった人以外  
なんだ……」

デイディー「……えー！」

ドンキー「すまん！」

デイディー「いいよ、いいよ、ドンキー！このミッションのあとの  
復活ゲーム頑張ってるね！」

ドンキー「おう！」

ゼルダ「立ち直りが早いのね……」

その後のミッションクリア者

ヨッシー・ファルコン・リユカ・スネーク・夢幻 ・死神魔姫

まだクリアしていない人

ルイーダ・ピカチュウ・ゼニガメ・フシギソウ・ルカリオ・マルス・  
ギルバート

ギルバート「作者の中で残ってるの俺だけ？」

ピカチュウ「ポケモンの方案外残ってるね……」

ルカリオ「あつたぞ！」

スタッフ「コイン1枚もらいます！」

ルカリオ「ほら！」

スタッフ「どうぞ！」

ルカリオクリア  
残り6人

ルイージ「あの辺だね!」

マルス「あつ! ルイージか! ルイージ、裏ゲート前にいます。5体  
つれてきてください」

ルイージ「ん? ハンター、5体? 重かったから丁度いいやそれ!  
ぶしゅー!」

ハンター5体「!!!!!!」ピタッ!

マルス「なに!？」

ルイージ「誰かに見られていたような気がする早く行こう!」

マルス「ハンター・・・止められたのか・・・、それと、ルイージ  
にきずかれたか?」

なんと、ルイージまたしてもハンターストップ!

ルイージ「裏遊園地に行きたいんですけどここですか?」

スタッフ「はいそうですよ! コインお持ちですか?」

ルイージ「あるよ! はい!」

スタッフ「ありがとうございます!」

ルイージクリア

残り5人

マルス「もう、ここに逃走者来なさそうだから僕も行こう!」

スタッフ「・・・あなた・・・裏切り者でしょ・・・」

マルス（ぎくつ!）「それがどうしたんです?」

スタッフ「なんとなくですよ」

マルス（ふう・・・脅かすなよ・・・）「はい、コイン!」

スタッフ「ありがとうございます、・・・本当に裏切りじゃないん  
ですわ?」

マルス（いつまで誤解が続くのかな？）

マルスクリア

残り4人

その後ミッションクリア

ピカチュウ・フシギソウ・ギルバート

残りゼニガメ

ゼニガメ「どこだ？裏ゲート？わっ！ハンター！」

ハンター34体が近くをうろろしている

ゼニガメ「どうしよう・・・」

そのとき、1体のハンターがゼニガメにきずいた、それにつられて34体のハンターもきずいた

ゼニガメ「へっ？」

ぽん

ゼニガメ確保

残り32人

時間80分

次回、復活ゲーム、誰が復活するのか！？

早く入らなくてもいいのか？（後書き）

時間の速さ元通り

クレイジー「早！」

ワリオ「次、復活ゲームダー！」

復活ゲーム、復活するのは誰だ！？（前書き）

ワリオ「せっかくだから復活してやる！」

クレイジー「言っとくがハンターの数と速さは

数 100体 速さ 2倍だぞ！」

みんな「えーっ！っ！」

## 復活ゲーム、復活するのは誰だ!?

復活ゲーム!

今から逃走者にクイズを出します!

誰が復活するかをきめてください!

正解者は10万円をあげます

これは逃走失敗してももらえます

マリオ「やっぱピーチだろ!」

ルイーダ「そうだよね!」

リンク「ゼルダかな?」

結果

ピーチ	4人
ゼルダ	3人
サムス	1人
クッパ	2人
ワリオ	0人
ガノンドロフ	1人
ポポ	2人
ナナ	3人
カービィ	5人
メタナイト	4人
デデデ	1人
リザードン	3人
ドンキー	2人
フォックス	2人

クレイジー「ワリオ0票!」

ワリオ「なんだとー!」



カービィ「5人も応援してくれている」

3・2・1・START!

ガシャン!

みんな「わー!」

デデデ「何でゾイ!」

ポン

デデデ確保!

ピーチ「みんなにGPSがあるから場所はわかるわね!」

フォックス「あつたぞ!」

フォックス復活成功!

残り34人

ゼルダ「この辺なんだけど・・・わっ!ハンター!」

ハンター「!!!!」

ゼルダ「きゃ・・・」

ポン

ゼルダ確保

ワリオ「早くゲート入るぞ!って・・・何!っ!」

ハンター「!!!!!!」

ぼん

ワリオ確保

クッパ「見つけたぞ!」

クツパ復活成功  
残り35人

裏切り者の賞金+90万に減少

サムス「この辺ね！ハンター！」

ハンター「！！！」

サムス「きゃ・・・」

ポン

サムス確保

ドンキー「無いぞ！」

ハンター「！！！」

ポン

ドンキー「ハンターがいたのか・・・」

ドンキー確保

リザードン「あつたがハンターがいるな・・・これじゃあ進めないぞ！」

ハンター「！！！」

ポン

リザードン「後から来ていたのか・・・」

リザードン確保

ポポ「見つからないよー」

ナナ「はやく見つけないと！」

ハンター「！！！」

ポポ「ハンターだよ！」

ナナ「見つかったら逃げられないね・・・」  
ポン ポン

ポポとナナ確保

カービー「あつたよ！」

カービー復活成功（裏切り者の賞金＋80万）  
残り36人

メタナイト「ハンターがいるがどう切り抜いていけばいいのか・・・

「ハンター2体「！！！」」

メタナイト「ハンターが気がつかなければいいが・・・」  
ポン

メタナイト「見つかったのか・・・」

メタナイト確保

ガノンドロフ「無いぞ！GPSを見てもわからないぞ！」

ピーチ「静かにしてよ！ハンター来ちゃうでしょ！」

ガノンドロフ「ムッ！あれはゲートじゃないか？」

ピーチ「そうね！早く行こうよ！」  
ハンター「！！！」

ガノンドロフ「ムッ！ハンターが来たぞ！」

ピーチ「ええ！」  
ガノンドロフ「俺が囿になるお前はゲートに行け！」

ピーチ「わかったわ！」  
ガノンドロフ「がんばれよー！」

ピーチ復活成功

残り37人

ポン

ガノンドロフ確保

クレイジー「復活成功者はピーチ・クツパ・カービィ・フォックス  
！クイズ正解者はマリオ・ルイーダ・ヨッシー・スネーク・シーク・  
しら・ryouki・ファルコン・リンク・ソニック・ゆうたん・  
ファルコ・ウルフが正解者だ！ガノンドロフは女性に優しくしたた  
め20万の賞金をやるう！」

次回、逃走再開！裏切り者<sup>マルス</sup>が何かやらかすぞ！

復活ゲーム、復活するのは誰だ！？（後書き）

マリオ「でも、復活者多いな！」

ルイーダ「残り時間80分！」

ピーチ「現在の逃走者37人！」

クッパ「多くないか？」

スマッシュ「ふっふっふ・・・、次回予告に裏切り者が何かをやら  
かすと書いただろ！」

マリオ「そうだけだよ！」

逃走再開！裏切り者、何かやらかすぞ！

スタート位置1つの裏ゲート前

3・2・1・START！

マルス「全員1番裏ゲート前にいます」

マルスは小声でそういうと3体のハンターがやってきた

マリオ「ハンターが来たぞ！」

ルイージ「このままだと追いついちゃうよ！」

???「我輩に任せろ！」

マリオ「クツパ!？」

クツパ「みんな！さきに行くのだ！」

マリオ「わかったよ！」

クツパ「よかったのだ！」

ポン

クツパ確保（裏切り者通報）

残り36人

マリオ「やっぱり裏切り者が通報したんだな！」

ブルルルルルル

ルイージ「なに？」

リンク「クツパがみんなに親切にしたのでクツパは守った逃走者の数は35人、クツパには35万をあげよう！」へー！

クツパ「35万ゲットなのだ！」

マリオ「そういえば逃げてる間きずいたんだがマルスだけ違う所に行ったような気がするぞ！まさか、マルスが裏切り者か？」

マリオはきずいたようだ

マルス「はつくしよん！誰かに裏切り者ってばれたかな・・・」

牢獄でトーク

ブルルルル

デデデ「あれ？何でゾイ？メールが来たゾイ！」

ゼルダ「『これから君達に裏切り者が誰かを答えて欲しい』なんで  
すって！」

クツパ「『答えがあつてたものは賞金50万がもらえる』挑戦する  
のだ！」

牢獄ミツシヨン

裏切り者を答えよ！

裏切り者を牢獄の中の者達が答える

見事に当たったものは50万を山分けする

クツパ「ロボットなのだ！」

ゼルダ「マルスが怪しいですね」

結果

マリオ	1票	ルイージ	0票
ヨッシー	1票	リンク	1票
シーク	0票	トウーン	0票
ピット	0票	ロボット	2票
オリマー	1票	ファルコ	0票
ウルフ	1票	ファルコン	0票
レッド	0票	フシギソウ	1票
ルカリオ	0票	プリン	0票
マルス	2票	アイク	0票
ネス	1票	リユカ	0票

ゲーム&ウオッチ 1票                      スネーク 1票  
ソニック 0票

となった(作者と復活者は加えない)

正解は裏切りがつかまつた後!

ブルルルル

マリオ「メール?」

ルイージ「これからハンターボックスを6個置いた!」えっ!  
ピーチ「君達はハンターボックスにある暗証番号を打たなければ  
ならない」ええ!

ミッション

ハンター放出を???しろ!

このエリアのどこかにハンターボックスがある

ハンターボックスには暗証番号があり暗証番号を確認しなければ  
いけない

暗証番号がある場所はどこかの掲示板に張ってある!

しかし、携帯電話が残り79分で電源がオフになる

早く、みんなに知らせたかつたら早く使うのだ!

マルス「また、携帯が使えなくなる!今のうちに誰か通報しないと  
!あつ、スネーク発見!スネーク、

ジェットコースター前のゴミ箱近くのダンボールにいます・・・」

(ところでなんでダンボール・・・)

スネーク「ダンボールならハンターに見つからないだろ!」

ハンター「!!」

スネーク「ハンターが来たな・・・静かにするか・・・」

ガコン

スネーク「!!」

ハンター「・・・」



ポン

スネーク確保（裏切り者通報）  
残り35人

クツパ「スネーク確保！また、ダンボールの中にも隠れてたのかな？」

デデデ「絶対そうだゾイ！」

掲示板前

マルス「来る人が来たら通報しよう！えーと・・・携帯電話使用できなくなるまで残り40秒！」  
マリオ「なんだ？マルスが掲示板を見張っている・・・やっぱりマルスが裏切り者か・・・」

本部

ブルルルルル

スタッフ「なに？」

マリオ「あの一・・・マリオですけど」

スタッフ「マリオ？んでなに？」

マリオ「裏切り者がわかりました！」

スタッフ「そうか！んで誰だ？」

マリオ「マルスです！」

スタッフ「正解だ！マルス以外にメールをださせてもらっぞ！」

ブルルルルル

ルイージ「今度は何？」

ピーチ「『裏切り者の正体がわかった！』ええ！」

リンク「『そいつはマルスだ！』えー！」

シーク「『その答えをだしたのはマリオである』ほう・・・」

カービィ「『なのでマリオに100万の賞金が送られる!』わあ!  
すごーい!」  
マリオ「よっしゃ!」

### 牢獄

デデデ「答えはマルスゾイ!」  
クッパ「マルスめ・・・許さん!」  
ドンキー「どうやら死にたいようだな・・・」  
デイディー「このピーナツポップガンの勢いを喰らってみやがれ  
・・・」  
ゼルダ「ふっふっふっふ・・・」  
ガノンドロフ「地獄まで叩きつけてやる・・・」  
ポポ「氷を喰らわそうよ! ナナ」  
ナナ「そうね・・・」  
メタナイト「この剣の強さを見せ付けてやるぞ・・・」  
リザードン「この俺の炎を当てて燃やしてやる・・・」  
スネーク「ちよつと待て!俺の銃火器を使おう!」  
デデデ「怖いゾイ・・・」

次回、裏切り者危うし・・・

裏切り者、危うし・・・(前書き)

マルス「やばいな・・・」

裏切り者、危うし・・・

マリオ「100万円をもらったからつかまってもいいや!」

掲示板の前

リンク「やっと来れたよ!」

トウーン「そうですね!」

リンク「えーと、番号は・・・」0283『よし早くメールをうとう!』

トウーン「もう、うってるよ!」

リンク「早!」

マルス「あれ?リンクとトウーンがいる!リンクとトウーン、掲示板前にいます!」

トウーン「送信!」

リンク「おわっ!ハンターだ!トウーン、逃げろ!」

トウーン「え?」

ポン

トウーンリンク確保(裏切り者通報)

残り34人

トウーン「つかまっちゃった・・・でも、みんなにメールできただけでもいいか!」

プルルル

マリオ「メールか『暗証番号は『0283』か」

ルイーダ「早く行こう!」

ピーチ「ハンターボックスあった!早くパスワードうたなきゃね!」

ピピピピ ピコーン

残りハンターボックス5個

リンク「みんなに、ちゃんとメールが届いたみたいだね！」

マルス「ん？ハンター？早く隠れよう！」

ハンター「……………」

マルス「早くどこかに行ってくれ……」

ハンター「！！！」

たたたたたたたた

マルス「あれ？誰か追っていったのかな？」

????? 「ぎゃーーーーー！」

ポン

ヨツシー確保

残り33人

マルス「ヨツシーが捕まったのか」

???? 「あつ！マルス！」

マルス「わっ！驚いた！なに？カービィ？」

カービィ「マルス、裏切り者でしょ……」

マルス（ギクツ）「違うよ！ははははは……」

カービィ「これを見て！」

マルス「……………」（ばれちゃった……）

カービィ「ハンター何処かな？」（黒笑）

マルス「わかったよ……、今から自首するよ……」

カービィ「じゃあ、ハンターに捕まって！」（黒笑）

マルス「……………」やだ

ドキューーーーン！

カービィ「あつ！逃げた！」

マルス「カービィ、掲示板前にいます！やばいやばい！」  
カービィ「待てー！ってハンター！」  
マルス「こっち来るなー！」

ポン ポン

カービィと裏切り者マルス確保  
残り31人

マリオ「やっと裏切り者捕まった！」  
ルイーダ「今から血を見るね・・・」

牢獄

クツパ「では、作戦を立てよう！」（黒笑）  
みんな「おーー！」（黒笑）

次回、マルス、みんなから逃げられるか？

マルス、みんなから逃げられるか？（前書き）

マルス「君がつかまったので牢獄のメンバーと逃走者から逃げてください」何！？」

マルスだけミッション

逃走者と牢獄者から追ってくるから

ゲートに逃げる

ゲートに逃げ切れると裏切った分の賞金がえられる

マルス、みんなから逃げられるか？

マルス「やばいな……。何処から来るんだ？一様、こっちにはスマッシュボールは100個あるけど」

マリオ「では今からマルス撃退戦争を始めたいと思う！」

みんな「わー！ー！」

マリオ「みんな！武器を持っているか？」

みんな「YES！」

マリオ「では、突撃！」

マルス「わっ！来たよ！」

アイク「1発で決めてやる」

アイクはスマッシュボールを使った

アイク「ドリヤ！」

マルス「危ない危ない！」

リンク「行きますよ！」

マルス「ジャンプだ！」

リンク「かわされた！」

マルスとゲートの距離約2キロ

クッパ「我輩の炎をうけてみる！」

ゴー！ー！ー！ードカーン！

マルス「デカ！」

ドッカー！ー！ー！ン！

マルス「危なかった……」

クッパ「はずしてしまっただ……。力を使いすぎたか……」







ゼルダ「キャーキャー！」  
マルス「いまのは危なかった……」

残り250メートル 人数5人

マルス「もう、すぐそこだ！」

5人「待て！」

マルス「なんだ？」

マリオ「待ちくたびれたぞ！」

リンク「早く捕まえましょう！」

カービィ「おーっ！」

ピット「張り切りすぎ……」

ヨッシー「燃えてきました！」

マルス「5人か！」

マリオ「いいか！マルスを捕まえることだけを専念しろよ！」

4人「わかった！」

マルス「こりゃ、大変だな……」

マリオ「全員スマッシュボールで攻撃だ！」

4人「おう！」

カービィ「おなべおなべ！」ボン！カンカンカン！

マルス「うわ！」

マリオ「行くぜ！マリオファイナルで加熱アップだ！」ゴー……！

マルス「あちゃあちゃあちゃ！」

ヨッシー「逃げさせませんよ！ヨッシードラゴン！」ぴか……！

マルス「早く攻撃しないと……」

ピット「攻撃させませんよ！突撃！」ドカドカ

マルス「うぐうが！」

リンク「これが最後です！」ピキーン、びゅびゅびゅびゅびゅびゅ

リンク「ふっ……どりゃー！」

マルス「うわ……！」

マルス確保

マルスに賞金はなし！

次回、マルスを懲らしめようぜ！

マルスを懲らしめようぜ！（前書き）

マルス「やめて・・・ギャーーーー！！」

マルスを懲らしめようぜ！

マリオ「では、今から裏切り者のマルスに通報された人が攻撃を開始します！」

クツパ「さっきの仕返しじゃー！ー！」　　ゴー！ー！ー

ドンキー「喰らえ！ジャイアントパンチ！」　ドカー！ー！

デイディー「喰らえ！」　　パン！ドカ！

ゼルダ「デインの炎！」　　キュイン、ボカー！ー！

ガノンドロフ「魔人拳！」　　ごごごごドッカー！ー

！ー！

ポポ・ナナ「それ！それ！」　　ヒュー！ー！ー！カキ

！ー！

メタナイト「はっ！」　　キュイン！

リザードン「どりやー！ー！」　　ボカン！

スネーク「手榴弾と強力ミサイル！」　　ドカー！ー！

カービィ「僕もやるんだよ！」　　ザシュ！

マルス「うわー！ー！ー！」　　チー！ー！ー！

マルスは瀕死なりかけになりました．．．

ギルバート「まだまだじゃー！ー！ー！」（狂）ドッカー！ー！ー！  
マルス「ギャー！ー！ー！ー！ー！ー！」　　キラ！ー！ー！ー！  
マルスは星になりました

マリオ「早くマルスを追っかけてホームランバットで打てー！ー！

！ー！  
カキーン．．．カキーン．．．カキーン．．．カキーン．．．カキ  
ーン．．．．．

20分後

マルスはとうとう心拍数が1になりました

マリオ「これでいいだろう」

リンク「これでも納得できません！とどめを入れていいですか？」

スネーク「殺つちまえ！」

リンク「はあ！」ザシュ！

マルス「ぐは！」チーン・・・

マルスは死んでしまいました

マリオ「終わった！終わった！」

リンク「疲れましたね！」

ルイーザ「休憩ある？クレイジー？」

クレイジー「あるが・・・」（グロイなこいつら・・・）

ルイーザ「じゃあ、早く休憩しようよ！」

クレイジー「わかった部屋を用意しよう！」パチン！

マリオ「サンキュウ！」

クレイジー（緊急手当してやるか・・・）

スマッシュ「遅いんじゃないの？」

クレイジー「大丈夫だろ・・・」

次回、マルス、苦しむぜ！

マルス、苦しむぜ！（前書き）

マルス「ク・・・クレイ・・・」

クレイジー「今はしゃべるな！今直してるんだからな！」

今回はかなり短いような気がする



マルス、苦しむぜ！

マルス「クレイジー・・・助けてくれ・・・」

クレイジー「わかった！今、治療するから我慢しろよ！」

マルス「そんなことは・・・わかってている・・・できるだけ早く・・・」

クレイジー「この傷はいつものもの姿じゃ直せないな。人間の姿になるか・・・。マルス・・・人前では見せなかつたがお前には見せてやる！」

マルス「へ・・・？」

クレイジー「どうだ？マルス？人間の姿の俺？」

マルス「カッコイイね・・・。そんなことは・・・どうでもいいから・・・早く直してよ・・・」

クレイジー「わかつたがこの治療は痛いから我慢しろよ！」

マルス「出来るだけ・・・我慢するよ・・・」

クレイジー「いくぜ！」

マルス「ギャー！ー！」

クレイジー「我慢してたのじゃないのか！」

マルス「痛いものは・・・痛いよ・・・」

クレイジー「まだまだ直さなくてはならないところはたくさんあるんだ！我慢しろ！」

マルス「ぎゃー！ー！ぎゃー！ー！」

2時間後・・・

マルス「・・・」

クレイジー「直ったぞ！」

マルス「・・・本当かな・・・」

クレイジー「しゃべれるんだから直ってるだろ！」

マルス「本当にそうだね・・・ははは・・・」

クレイジー「今は安静にしておいたほうがいい。動くとならぬにさわるからな」

マルス「わかったよ。ありがとう！クレイジー！」

クレイジー「ああ」

次回、逃走再開！かなりの人数が減るとハンター放出！

マルス、苦しむぜ！（後書き）

マルス「本当にありがとう。クレイジー・・・ZZZ・・・」

逃走再開！かなりの人数が減るのとハンター放出だぜ！（前書き）

マリオ「今回は確保ラッシュだぞ！」

逃走再開！かなりの人数が減るとハンター放出だぜ！

マリオ「ハンターがいる！ゆっくり逃げよう・・・」  
ハンター「・・・・・・・・」

ルイージ「あつ！ハンターボックス！えーと、番号は・・・」  
『02  
83』だよね」  
ピピピピ

ルイージ、ハンターボックス解除???

ピーチ「あれ？ここ何処かな・・・。・・・ハンターー！」  
ハンター「！！！！！」

ピーチ「キャー！捕まえないでー！」  
ポン

ピーチ確保  
残り30人

リンク「ピーチさん捕まってしまいましたね・・・」

シーク「早く逃げなければ・・・。ハンターだと・・・」  
ハンター「・・・・・・・・！」

シーク「ハンターが何処かへ走っていったな・・・、誰が見つかったのか！」  
????「ひえ~~~~！」

ポン

リュカ確保  
残り29人

リュカ「いきなり見つかったよ・・・」

ピット「逃走再開して1分で2人！早！」

アイク「あつた・・・『0283』を早く押すか・・・」  
「ピピピピ！」

アイク「ハンターボックス解除??？」  
アイク「残り何個だ？」

マリオ「また、ハンターが見えた・・・」

リンク「そうですね・・・」

マリオ「わっ！リン・・・！」

リンク「静かにしてください！見つかってしまっじゃないか！」

マリオ「うーうー！」

ハンター「・・・！！！」

???「ギャーーーーー！」

リンク「ハンター行きましたね・・・、マリオさんすみませんね！」

マリオ「いきなり出てくるなよ・・・」

リンク「でも、助かったでしょ」

マリオ「ありがとな・・・しかし、誰か見つかったようだぞ！」

リンク「さっきの悲鳴はプリンじゃないでしょうか・・・」

プリン「・・・きゃ！ハンター！」

ハンター「！！！！」

プリン「キャーーーーー！」

ポン

プリン確保

残り28人

リンク「やっぱり、プリンでしょ」  
マリオ「すごいな・・・」

ルイージ「また、ハンターボックスだ・・・」  
ピピピピ

ルイージ、ハンターボックス解除???

ミッション終了まで残り4分  
残りハンターボックス3個

ルカリオ「見つけた・・・」  
ピピピピ

ルカリオ、ハンターボックス解除???

ゆうたん「あれ？ハンター？」

ハンター「!!!!」

ゆうたん「追っかけてるよ！」

ポン

ゆうたん確保

残り27人

マリオ「とうとう、作者の1人が捕まってしまった」

リンク「やばいですね・・・」

マリオ「しかし、作者のギルバートなら今、逃げ切れてもおかしくない状態だよ・・・」

リンク「マルスを懲らしめて今は愉快そうだけどね・・・」

マルス「・・・はつくしゅん！また、誰かがうわさしたかも・・・」

ギルバート「はははははははは！ハンターからにげてやるぜ！逃げ切った賞金をメタ様に授けるぜ！」

しら「いま、大変な、状況です・・・」

ryouki「ハンターボックスがありました！」

ピピピピ

ryouki、ハンターボックス解除???

残り1個

ソニック「まだ、ありそうだな・・・」

フォックス「どこだ！ハンターボックス！」

「このミッションには裏があるぞ！」（by 謎の男）

ピカチュウ「どこだろう・・・あった！」

ピピピピ

ピカチュウ、ハンターボックス解除???

「だまされてハンターボックスを解除したな・・・」（by 謎の男）

ピカチュウ「疲れたー！」

プシューー！

ピカチュウ「えっ！何?!」

バンッ！

ポン

ピカチュウ確保！

残り26人



ハンターの数は10体になった・・・

マリオ「全てのハンターボックスを止めたのにハンター放出!？」  
リンク「何かあったんでしょつか・・・」

アイク「なぜだ・・・ハンターボックスを止めたぞ・・・」  
マリオ「アイクいたんだ・・・」

リンク「なぜハンターが増えたんでしょつか？」  
マ・ア・リ「・・・」

マリオ「わからん・・・」

アイク「俺もだ・・・」

リンク「私もです・・・」

ハンター10体「・・・」

フシギソウ「なぜ、全てのハンターがいるのかな・・・」

ハンター2体「・・・!」

フシギソウ「見つけた!」

ハンター「!!!!!!」

フシギソウ「見つけたからもう逃げるところないよ・・・」  
ポン

フシギソウ確保

残り25人

ファルコ「やばいな・・・」

ハンター「・・・」

ファルコ「ハンターが通った!」

ハンター「・・・」

ファルコ「ここにハンターいすぎだぜ・・・」

ハンター「!!!!!!」

ファルコ「さて、どう逃げよう・・・」



ファルコン「うおっ！ハンター！」  
ポン

ファルコン確保

残り22人

シーク「どんどん捕まっていくな・・・」

残りの逃走者 人数22人

マリオ・ルイージ・リンク・シーク・ピット・ロボット・オリマー・  
フォックス・ポケモントレーナー（レッド）・ルカリオ・アイク・  
ネス・ゲーム&ウオッチ・ソニック・しら・ryouki・竜斗・  
夢幻・ギルバート・死神魔姫・ほーき雲

次回、確保ラッシュだぜ！

**逃走再開！かなりの人数が減るとハンター放出だぜ！（後書き）**

みんな「なぜ！？ハンター放出！？」

スマッシュ「誰かにすり返られた！」

マリオ「何ー！ー！？」

スマッシュ「うそー！そー！」

みんな「えー！ー！っ！」

スマッシュ「次回はみんなにメールで知らせるよー！」

確保ラッシュユだぜ！

ブルルルルル

マリオ「ん？メール？」

ルイージ「君達のせいでハンターが放出した」なんでー！

リンク「それは、ハンター放出ボックスである」なにー！

シーク「このボックスはその暗証番号をうつとハンターが開放されるものである」フム・・・」

ピット「なんで！そんなことミツシヨンメールには書いてなかったよー！」

ロボット「『メールには』???』と書いてあるからよく考えると『放出』することがわかるぞ」

オリマー「『そのことを誰も考えずにハンターボックスに暗証番号をうちこんでこうなった』・・・」

フォックス「『では、頑張りたまえ！』くそー！」

マリオ「んで、どうする？」

リンク「また、ハンターに追われるのはごめんですよー！」

アイク「zzz・・・」

ルイージ「連れてきて良かったのかな・・・？」

マリオ「ほっとけ！アイクはやるときはできる男だからな」

アイク「zzz・・・」

ルイージ「そうかな・・・」

リンク「マリオさん！」

マリオ「なんだ？」

リンク「ハンターが近づいていますよ・・・」

マリオ「それを早くいってよ・・・」

アイク「zzz・・・」

ルイージ「よかった・・・いびきはかいていないな・・・」

ハンター「……………」

マリオ「早くどっかに行け！」

ハンター「……………」

リンク「あれ？走っていききましたね」

マリオ「まさか……………」

????「ギャー——！」

ポン

ロボット確保

残り21人

マリオ「やっぱり……………」

リンク「よくわかりましたね……………」

マリオ「勘だ」

ルイージ「ハンター、強いよ……………」

ソニック「ハンターが来たぜ！」

ハンター「!!!!」

ソニック「Bad!捕まつてたまるか！」

ハンター「……………」

ソニック「俺のRunに勝てるわけがないぜ！」

ハンター「!!!!」

ソニック「残るのは俺だぜ！」

ポン

ソニック「NO————！」

ソニック確保

残り20人

ゲーム&ウォッチ「私ハアマリ見ツカリマセンネ」

ハンター「……………??」  
ゲーム&ウオッチ「コッチ来マシタ……」  
ハンター「……………」  
ゲーム&ウオッチ（上ニ乗ラレタ……）  
ハンター「!!!!」  
ポン

ゲーム&ウオッチ確保  
残り19人

アイク「ん？」  
マリオ「あっ！起きた」  
アイク「おはよう……」  
ルイーダ「夕方だけど……」  
リンク「2分寝てましたね……」  
マリオ「ムッ！ハンター！」  
アイク「やばいな……このままではこっちにくるな……」  
ハンター「!!!!」  
マリオ「来た！」  
リンク「4つに分かれて逃げましょう！」  
マリオ「オウ！」  
ハンター「……………」  
アイク「こつちだと！」  
ハンター「!!!!」  
アイク「挟み撃ちだと!？」  
ハンター「……………」  
アイク「どりやー！」  
ハンター「!!!!」  
アイク「今のうちに逃げるか」

死神魔姫「ハンターだ……」

ほーき雲「やばいですね……」

死神魔姫「そうだな……」

ハンター「……！」

ほーき雲「来ましたよ！」

死神魔姫「くそ！逃げる場所が1つしかない！」

ほーき雲「死神魔姫さん！」

死神魔姫「なんだ？」

ほーき雲「おとりになりますので逃げてください！」

死神魔姫「……わかった……」

ほーき雲「頑張ってくださいね！」

ポン

ほーき雲確保

残り18人

しら「作者のほーき雲さんが捕まってしまいました！」

ryouki「それはやばいですね……」

しら「ハンターが増えて確保が多くなってますよ……」

ハンター「……！」

ryouki「あっ！ハンターです！」

しら「こっちにきてるね……」

ryouki「早く逃げないと！」

しら「そうですね！ついでにそこに分かれ道がありますからね」

ryouki「では、頑張ってください！」

しら「そちらも！」

ハンター「……！」

しら「こっちですか……」

ハンター「……」

しら「角を使って……」



ハンター「……………」

ryouki「ハンターから逃れたようですね……」

ギルバート「ふはははは……ハンターから逃げてやるぜ……  
ハンター「……………」」

ギルバート「ふはははは……喰らえ！ランチャー！」

ハンター「……………」ドカーン！

ギルバート「今のうちに逃げないとな」

オリマー「ハンターが出そうじゃばいですね……」

ハンター「……………」

オリマー「ギャ……………」

ポン

オリマー確保

残り17人

ロボット「危ないですね……」

残り時間65分

フォックス「そろそろミッションが出てきそうだが……」

ブルルルル

フォックス「来た！『今、9体のハンターが入ってるボックスが出現した！』なに！？」

マリオ「『レバーは3つに分かれて置いてある！』3つのところに行かないといけないのか！」

リンク「『1つの場所ごとにレバーの数が決まっている』なんですとー！」

ルイージ「『1つのところを下るとハンターが3体消滅する』  
ムフム……」

ミッション？

レバーを下ろしてハンター放出をさせるな！

ある場所にハンターが9体入ってるボックスがある

放出を止めるにはエリアの何処かにある3つのレバーを下ろさないといけない！

1つのレバーを下ろすとハンターが3体消滅する！

放出時間は残り50分まで！

なお、レバーの数は場所によって違う！

マリオ「これは行くしかないだろ！」

リンク「それなら団体で行くほうがいいかも」

ルイーダ「じゃあ、丁度3人いるから、行こう！」

マリオ「ちよつと待て！あそこにあるのは・・・宝箱！」

ルイーダ「中には何があるかな？」

リンク「出来ればGPSがいいですね」

マリオ「よかった、GPSだよ！」

リンク「これで場所がわかりますね！」

マリオ「ところでリンク？ダッシュブーツは？」

リンク「ああ、ちゃんとありますよ」

マリオ「そうか・・・」

ルイーダ「みんなに知らせるよ！」

マリオ「ああ、そうしてくれ」

ルイーダ「送信！」

ブルルルルル

レッド「わっ！何ですか？メール？」

ルカリオ「ルイーダからか『レバーの場所がわかったよ！』何！？」

アイク「『場所は、ゲート前に2人で、観覧車に4人で、ジェット

コースターに1人があるよ！』」

ネス「わかった！それより、みんな何処にいるのかな・・・」  
??「あつ！ネス君！」

ネス「あつ！夢幻 さん！」

夢幻「今、レバーの所に行こうとしてたんだ！」

ネス「じゃあ、ゲート前のレバーを下ろしに行きましょう！」

夢幻「そうだな！」

アイク「マリオ達は何処行っただ？」

マリオ「アイクー！」

アイク「あつ！マリオ！」

マリオ「じゃあ今から観覧車のところへ行こう！」

フォックス「ムムツ！ハンターか！」

ハンター「！！！」

フォックス「やばい！」

ポン

フォックス確保

残り16人

ピット「来たぞ！ジェットコースター前！でも・・・あれ？見つからないぞ？まさか!？」

ピットが見た方角ジェットコースターにのっているヤツが目に入った

ピット「あつた・・・ぼんやり見ている場合じゃない！早く行かないと！」

かんかんかんかん

ピット「よしこれだ！あれだ！来た来た。それ！」ガシャン

プーーーーー！発車します

ピット「わーーーーー！」

ルカリオ「何遊んでるんだ？」

ピット「レバー下ろしたーのにージェットコースターがー発進ー  
したんだよー！」

ルカリオ「そうか・・・ハンター！」

ピット「えっ!？」

ハンター「!!!!」

ルカリオ「なぜ!私!？」

ポン

ルカリオ確保

残り15人

ピット「捕まるってあんなだな・・・」

次回、逃走者の逃走劇だ!

逃走者の逃走劇だ！（前書き）

マリオ「早く行かないとハンターが放出するぞ！」  
リンク「急ぎましょう！」

## 逃走者の逃走劇だ！

マリオ「不味いな・・・」

リンク「なにがですか？」

マリオ「ハンターがあそこに2体いるんだよ・・・」

ルイージ「強行突破は出来ても逃げ切れないからね・・・」

アイク「さて、どうする？」

マリオ「ハンターが動くのは時間の問題だな・・・」

ハンター2体「・・・」

アイク「遠回りするか？」

リンク「いや、ハンターが多くて逃げ切れないよ」

マリオ「それもそうだ、だから、ここで身をひそめてるんじゃないか！」

しら「ゲートが近くにある！あそこに行こう！」

竜斗「うくん・・・ゲートのところには来たのはいいけどかんじんのレバーが無い！」

しら「あっ！竜斗さくん！」

竜斗「ん？あっ！しらさんか」

しら「レバーありましたか？」

竜斗「それがね・・・」

1分後・・・

竜斗「こうなんですよ」

しら「なんですとー！」

竜斗「探す必要がありますね・・・」

しら「じゃあ、一緒に探しましょうー！」

ルイージ「ハンター2体ともどっかへ行ったよ！」

マリオ「それ！観覧車の所へ走れ！」

アイク「着いたぞ！」

リンク「レバー……レバー……」

マリオ「無いな……」

ルイージ「ちよつとGPSを見せて……」

リンク「どうしたんですか？」

ルイージ「まさかと思ってね……」

マリオ「なんだ？」

ルイージ「やっぱりそうか！」

アイク「どうした？」

ルイージ「それが動いてるんだよ」

マリオ「なに！？」

ルイージ「多分この観覧車のゴンドラにあるんだと思うけど」

リンク「この観覧車のゴンドラは100個もあるビック観覧車だよ

！その中から見つけるなんて」

ルイージ「大丈夫だよ！すぐ回ってくると思うから！」

マリオ「ゆっくりゴンドラが回ってくるんだからレバーを見つけた

らすぐ入って下ろすだけだ！」

アイク「そうだな……」

ピット「早くー止まってー！」

ピットはまだ、ジェットコースターに乗っている

しら「無いですね……」

ryouki「どうしたんですか？」

竜斗「レバーが見つからないんだ！」

ryouki「それは大変ですね！僕も探します！」

ギルバート「どうしたんだ？お前ら……」

しら「一緒にレバーを探してくれますか？」

ギルバート「わかったぜ！」

竜斗「無いな！」

しら「何処にあるのかな・・・」

ryouki「探していれば見つかるよ！」

ギルバート「4人いれればすぐ見つかる！」

シーク「ムッ！ハンター！」

ハンター「！！！」

シーク「逃げる！」

ハンター「！！！！！」

シーク「角を使う！」

ハンター「????」

シーク「うまく撒いたな」

レッド「うわっ！また、ハンターだよ！」

ハンター「！！！」

レッド「逃げてやる！」

ハンター「！！！」

レッド「それ！それ！」

ハンター「????」

レッド「僕の足の速さをなめるなよ！」

ピット「う〜ん〜ん・・・ハンターがこっちに〜来てる〜な

〜・・・」

ハンター「……………」

ピット「もうすぐ〜止まる〜って〜いうのに〜！！ギャ〜！！

〜！！

夢幻「さっき撒いたのに、また、ハンターか！」

ハンター「！！！！！」



夢幻「逃げ切る！」

ハンター「!!!!!!」

夢幻「うおー！ー！」

ハンター「????」

夢幻「何とか逃げ切れた・・・」

ネス「あそこにハンターがいるよ・・・、それとピット・・・」

ピット「うわわわわー！」

ハンター「・・・」

ネス「やばい！ピットが狙われている！」

ハンター「・・・」

ネス「助けに行こうかな・・・」

ハンター「・・・」

ネス「やいハンター！」

ハンター「!!!!!!」

ネス「わっ！こっちに来た！」

ハンター「!!!!!!」

ネス「でも、助けたんだ！これくらいで負けないよ！」

ハンター「????」

ネス「ふう・・・」

ピット「うわわわわー！」

次回、レバーは何処だ！

レバーは何処だ？（前書き）

ピット」やっと、止まってくれたよ・・・」

## レバーは何処だ？

しら「本当に見つかりませんね・・・」

ryouki「この辺にあるんだけどな・・・」

ギルバート「何処だ〜！」

竜斗「そうですね・・・」

???「お〜い！」

しら「あつ！ネス君と夢幻 さん！」

夢幻「どうしたんだ？」

ryouki「レバーがないんだ・・・」

ネス「えーっ！っ！」

ギルバート「さっきから5分経つても見つからないんだ・・・」

ネス「ちよつと待つてね・・・」

5人「??？」

ネス「今、探してるところだから・・・」(何処だ？何処にあるんだ？レバー！)

マリオ「ルイージ！ハンターが来るかどうか見張つといてくれ！」

ルイージ「うん！わかったよ！」

アイク「・・・あれじゃないか？」

リンク「本当だ！ゴンドラの4つにレバーが1つずつある！」

ルイージ「本当だ！」

マリオ「う〜ん1つずつ降りてくるのを待たないといけないのか・・・」

リンク「早く来て欲しいですね・・・」

しら「本当に何処ですか？」

ネス「う〜ん・・・あつた！あそこ！あのゲートの両側！」

ギルバート「そうか！」

r y o u k i 「きずかなかった！」

ネス（きずけよ・・・）

夢幻 「では、下ろすよ！」

ギルバート「いつでもいいぜ！」

ガシャン ガシャン

残り1つ！

次回、何！？ゴンドラが！

レバーは何処だ？（後書き）

今回はかなり短い！

何！？ロンドラが！（前書き）

クレイジー「うん・・・暇だ！」  
ゼルダ「牢獄でトークが少ないのね」

何！？ゴンドラが！

マリオ「おいおい・・・ゴンドラが止まったぞ！」

リンク「おかしいですね？」

アイク「まさか故障か!？」

ルイーダ「うーん、これもミッションの一部じゃないの?」

マリオ「そうだろうな・・・」

ブルルルルル!

マリオ「おいでなすつたか！」

ルイーダ「『観覧車が止まってしまった!』それはわかってるよ!」

リンク「『観覧車を動かすには何処かにいるスマッシュを探さないといけない』えーっ!」

アイク「『スマッシュを見つけたら頼んで動かしてもらおうようにしないといけない』ふむふむ・・・」

通達

エリア内にいるスマッシュに頼んでゴンドラを動かしてもらおう!  
スマッシュはレストラン街にいる!

現在のレストラン街にいる逃走者は

死神魔姫・シークだ

シーク「この辺にいるのか・・・」

死神魔姫「どこだ?」

スマッシュ「うーん・・・クレイジーは何処だ?」

マリオ「今の時間は・・・57分!早く行ってくれ・・・」

ルイーダ「そうだけどハンターがたくさんいるからね・・・」

シーク「なかなか、見つからない・・・」

死神魔姫「この辺だ！」

スマツシユ「あっ！死神魔姫さんだ！」

死神魔姫「どうしたんですか？」

スマツシユ「クレイジーが何処にいるかわからないんですよ・・・」

死神魔姫「それならわかります！こっちです！」

スマツシユ「そっちにいるのか・・・」

牢獄前にいるクレイジーまでの距離300m

牢獄前

クレイジー「遅い・・・」

針生（ワリオ）「はりお」「何がだ？」

クレイジー「スマツシユを待ってるんだ・・・」

ゼルダ「ふん」

スマツシユ「何処にいるのかな？」

死神魔姫「もうすぐそこです！」

距離100m

クレイジー「ん？スマツシユが見えてきたぞ！」

スマツシユ「おっ！おっ！おい！」

クレイジー「よっ！例のものを用意したぞ！」

スマツシユ「ありがとう！」

死神魔姫「あゝ・・・」

スマツシユ「何？」

死神魔姫「突然なんですけど観覧車が止まってしまつて・・・」

スマツシユ「そんなことか！これ！」

死神魔姫「なんですか？これ？」

スマツシユ「動かすためにこの鍵が必要なんだ！」



死神魔姫「とういうわけはこれは・・・」

スマツシユ「そう、マスターキー！」

死神魔姫「・・・わかりました！ありがとうございます！」

スマツシユ「ハンターに見つからないように持って行くんだよ！」

死神魔姫「はい！」

次回、始動！観覧車だぜ！

始動！観覧車だぜ！（前書き）

死神魔姫「早くいかないと！」

始動！観覧車だぜ！

マリオ「今誰が観覧車の鍵を持つてるかわかったぞ！」  
リンク「誰ですか？」

マリオ「死神魔姫だ！」

ルイーダ「早く来てほしいね！」

アイク「zzzz・・・」

マリオ「あつ！寝てしまった・・・」

死神魔姫「案外遠いかも・・・」

距離は1km

ピット「ふ〜！やっと止まってくれたから世界が遅く見えるよ・・・

」

死神魔姫「どうしたんですか？」

ピット「えっ？ジェットコースターが爆走して思いっきり揺らされてたんだよ・・・だから、意外と走れるよ！」

死神魔姫「じゃあ、すみませんがこの鍵を観覧車のスイッチに差し込んで来ていいかな？」

ピット「いいよ！ここからの距離は1kmか多分大丈夫！」

死神魔姫「では、よろしく！」

ピット「はい！」

マリオ「う〜ん・・・この距離は1kmだね！」

ルイーダ「なぜわかる・・・」

リンク「さあ、なぜでしょうね・・・」

アイク「zzzz・・・」

ピット「あと500mだ！」

ピット「あと100m!」

マリオ「あっ!ピットだ!お〜い!」

ピット「マリオさん!スイッチの鍵ですよ!」

リンク「ありがたいね!鍵の差込口はあそこの中だよ!」

ピット「わかりました!」

ピット「この中だよね?あつた!」ガチャン!

ゴゴゴゴゴゴ...

アイク「ん?」

ルイーダ「動いた!」

マリオ「早く下りて来い!」

リンク「1つ目が見えましたね!」

ルイーダ「さき入って!僕は最後に入るから!」

マリオ「わかった!じゃあ、俺は2番目だ!」

アイク「俺が1番か...」

リンク「早く入ってください!」

アイク「わかった...」

マリオ「次がきたから入るぞ!」

ルイーダ「いいよ!」

リンク「3番目が来ましたね、ルイーダさん!先に入らせてもらいます!」

ルイーダ「いいよ!いいよ!次がやつと僕の番だね!」

マリオ「よし!全員入ったな!では、おろすぞ!」

ルイーダ「いつでもいいよ!」

ガシャン ガシャン ガシャン ガシャン!

ミッション成功!

残り時間51分

次回、新ミッション発動だ!

新ミッション発動だ！（前書き）

クレイジー「新小説の俺、もの静かだな・・・」  
マリオ「だって、人間にほとんどならないじゃないか！」

## 新ミッション発動だ！

ルイージ「50分切ったね・・・」

マリオ「ひゃー！156万円かよ！多いなー！」

リンク「まあ、頑張りましょう！」

アイク「・・・zzz」

4人は観覧車の中である・・・えっ？なぜかって？それは1つ前の話を読んでみてね！

ピット「あっ！マリオさん達だ！お〜い！」

マリオ「ん？ピットが手を振ってるな」

ルイージ「本当だ！お〜い！」

リンク「これって観覧車が1周するまで休憩できるんじゃないですか？」

マリオ「そうだろうな」

ルイージ「それともハンターを見つけることが出来るんじゃないの？」

リンク「それは難しいですね・・・」

マリオ「あっ！ピット！後からハンターだぞ！」

ピット「えっ！？本当だー！」

ハンター「・・・」

ピット「はやく離れよう・・・」

マリオ「いつ俺達はスタートなんだ？」

リンク「このままいくと30分ですね・・・」

ルイージ「へ〜・・・長っ！」

マリオ「20分休憩か・・・」

プルルルル

しら「あれ？ミッションですか？」

ryouki「どこかに賞金減少装置がおかれた」えーっ！

ギルバート「誰か2人が鍵を同時にかけないといけない」・・・

マリオ「鍵を持っているのは『スマッシュ』と『マスターハンド』だ！』何処にいるんだ？」

ミッション？

鍵を貰って装置を止める！

ある場所に賞金減少装置が置かれてしまった！

止めるには何処かにいるスマッシュとマスターハンドにあつて鍵をもらわないといけない

死神魔姫「さつきスマッシュにあつたな・・・行くか！」

ピット「マスターのいる場所は大体想像できるよ！だから行こう！」

マスター「うん・・・暇・・・」

スマッシュ「また、迷った・・・」 方向音痴

マリオ「ん？あそこにいるのはマスターじゃないか？」

リンク「そうですね・・・」

ルイーダ「あの近くににいる人は・・・」 望遠鏡でみている

マリオ（なぜ望遠鏡・・・）

ルイーダ「この望遠鏡はさつき見つけたんだ！」

マリオ「そうか・・・」

ルイーダ「あっ！いたよ！」

リンク「誰ですか？」

ルイージ「えーと・・・シークだね、あれは・・・」

シーク「確かこの辺に入ってたと思うんだが・・・」  
マスター「暇だ・・・」

シーク「いた・・・」

マスター「よう・・・シーク・・・」

シーク「どうしたんだ？」

マスター「ん？鍵が欲しいのか？」

シーク「なぜ、わかった・・・」

マスター「欲しそうな顔だからな」

シーク「ご名答！そうですよ！では鍵を」

マスター「わかった！ほれ！」

マリオ「無事にシークに鍵が渡ったな！」

死神魔姫「やつぱりいた！おーい！スマツシュさん！」

スマツシュ「どうしたの？」

死神魔姫「もう1回、鍵をください！」

スマツシュ「言っとくけどあの鍵はどんなミッションでも使えるんだぞ！」

死神魔姫「そうなんですか!？」

ピット「今頃誰か鍵を持っていつてるんだよなー」

プルルルル

ピット「えっ！何!？あつ、死神魔姫さんからだ。『ねえ！ピットくん！さっきの鍵を抜いて行って来て!』なんでー！」

次回、鍵が!？



鍵が！？（前書き）

ピット「走るのきついんだけどな・・・」

鍵が!?

ピット「やっとなつた。．．．疲れたけどまだ、はしるんだよな」

マリオ「あれ?ピットが戻ってきた!」

ピット「えくと．．．鍵鍵!」

リンク「どうしたのでしょうか?」

ピット「あつたあつた!よいしょ!」 スポツ!

ガシャーン!

マリオ「あれ?止まったぞ!」

リンク「これじゃあ逃走成功の確率が高くなるんですね!」

ピット「あつ!観覧車が!．．．マリオさん達!待っていてください

い!ミツシヨンを成功させてから絶対に動かしますから!」

アイク「出来ればはやくしろ．．．」

ピット「わかりました!行ってきます!」

シーク「多分、この差込口じゃないのか．．．」

ピット「どうしたんですか?シークさん!」

シーク「ああ、ピットか!この鍵の差込口がわからないんだ!」

ピット「では、僕に任せてください!」

ナゾ001(???)

シーク「この鍵に合う差込口を教えてください!」

穴は4つあった。

000。

— . . . I (これは鍵です)

鍵の大きさは普通だ。

でもどの穴に入れても動かないなぜかな?

次回、ナゾ解明!

鍵が！？（後書き）

今日は短いけどナゾナゾみたいなものを出させてもらいました！

レイトン教授のゲームを見て思い出しました！

感想で答えてみてください！

ヒント！逆転の法則が必要だ！

意味がわかるかな？

答えは次回話で！

今日の逃走中はミッツ・マングローブが逃走成功！おめでたい！

## ナゾ解明!

ピット「えーと、これは・・・」

シーク「あれ？君も同じ鍵を持っているようだね」

ピット「あつ！はいっ！さっき、観覧車にさしてきた鍵を持ってきたんです！」

シーク「なぜ、観覧車に？」

ピット「あの・・・このナゾ答えていいですか？」

シーク「いいよ、頑張って！」

ピット「えーと・・・鍵の形が――・・Iだから・・・普通にさせば入ると思ったけど・・・この鍵だけは・・・ちょっと違う！だから答えは・・・この鍵の持つ方を入れればいいんだ！QED（ナゾ解き終了）！」

シーク「わかった！入れてみるか！」ガチャン

ピット「入りましたね！」

シーク「そうだな・・・ピット！早くもう1つの鍵を！」

ピット「はいっ！あれ？」

シーク「どうした？」

ピット「この鍵さっきまでは無かったのになにかあるんですよ！」

シーク「それを早く解かないと時間切れになるよ！」

ピット「分かりました！」

ナゾ002???

ピットの持っている鍵が5つに増えてしまった！

みると鍵の形は違っていた

? ― = ― . . . I ? 「 . . . I ? F = = = B ? C . . . D  
? O . . . E

鍵の形をピットは思い出していた

ピット「えーと、右端にはとがっていたような・・・前の方は丸く、

真ん中は1本だった」

これだけで分かるかな？

ヒント この問題はヒントが無くても答えられる問題だよ！

次回、ミッション成功！あとは・・・

## ナゾ解明！（後書き）

また、意味不明なような言い方だけど頑張っ  
て解いてみてください！

ミッション成功!あとは・・・(前書き)

ピット「わかった!」

ミッション成功！あとは・・・

シーク「どれかわからないよ・・・」

ピット「僕は分かりました！」

シーク「どれなんだい？」

ピット「5番目のかぎです！」

シーク「そうか・・・では、鍵を入れようか」

ピット「はいっ！」

ガチャッ！

ミッションクリア！

残り時間41分

ピット「ふー・・・疲れた・・・あれ？なんか忘れてるような・・・」

マリオ「早く来てくれ〜」

リンク「今の時間が41分だから21分で下にいますがピットさんが来ない限り10分くらい延びるでしょうね・・・」

ルイーダ「それって得じゃない？」

アイク「いや、乗り物に乗ったままでゲーム終了すると強制失格のようだよ」

ルイーダ「えっ！マジッ！」

マリオ「終了するまでに来てくれたらいいんだが・・・」

ピット「えーと・・・なんだっけ・・・」

シーク「なにか忘れ物か？」

ピット「そうなんですけどわすれてしまいました・・・えーと・・・うーん・・・」

シーク「僕には分からないな・・・」

ピット「あっ！思い出しました！マリオさん達が観覧車の中にまだ



いたんだった!」

シーク「それでどうするんだ?」

ピット「またこの鍵をさしに行くんです!」

シーク「そうか・・・早く行った方がいいな」

ピット「はいっ!」

シーク「頑張れよ!」

ハンター「!!!!!!」

ピット「あっ!ハンター!」

シーク「・・・ピット・・・君は観覧車に行つてマリオ達を助けたらいんだ!行つて来い!」

ピット「シークさん・・・分かりました!」

シーク「ふふふふ・・・」

ポン

シーク確保

残り14人

ピット「シークさん、捕まってしまったけど先にマリオさん達を助けないと!」

マリオ「おお!ピットがこっちに来ているぞ!」

リンク「そうですね!私達のスタートは15分くらいからでしょうか・・・」

ルイーダ「そのところを心配してるの!?!」

アイク「・・・・・・・・」

ピット「あと100mだ」

マリオ「おい!はやく動かしてくれ!」

ピット「分かりました!」ガチャン!

ゴゴゴゴゴゴゴゴ・・・

リンク「動きましたね」

ルイーダ「これでまた動ける！」

アイク「……………」

次回、新ミッション発動&通達

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7875y/>

---

スマッシュブラザーズで逃走中

2012年1月14日13時46分発行